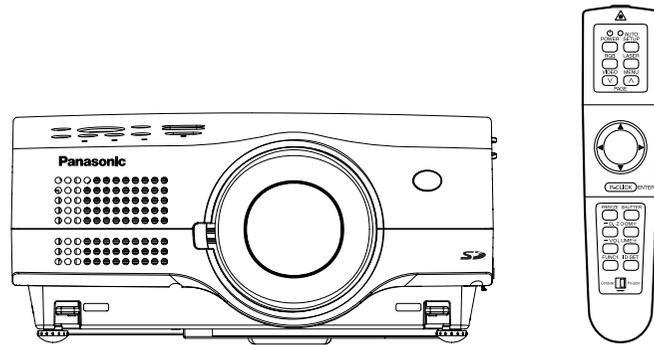


## 取扱説明書

品番 TH-L780NT  
TH-L780



このたびは、パナソニック 液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この説明書はTH-L780NT、TH-L780共用の取扱説明書にしています。

取扱説明書中のイラストはTH-L780NTです。

この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

製造番号は安全確保上重要なものです。

お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

# もくじ

安全上のご注意 ..... 4	各部の名前と働き ..... 12	リモコンの使いかた ..... 18	AV機器との接続例..... 24
付属品を確認する ..... 9	本体前面・上面 ..... 12	レーザーポインター機能 ..... 18	パソコンとの接続例 ..... 25
お手入れ/上手な使いかた ... 10	本体後面・底面 ..... 13	ワイヤレスマウス機能 ..... 19	<b>設置する ..... 26</b>
運搬上の留意点 ..... 10	本体操作部・リモコン ..... 14	乾電池の入れかた ..... 20	投写方式 ..... 26
設置に関する留意点 ..... 10	接続端子部 ..... 16	操作範囲 ..... 20	投写関係 ..... 26
使用上の留意点 ..... 10	カード挿入部・SDメモリーカード... 17	リモコンのIDを設定する ..... 21	投写距離 ..... 27
お掃除とお手入れ ..... 11		<b>接続する ..... 22</b>	
		接続の前に ..... 22	
<b>投写する ..... 28</b>	<b>デジタルズーム機能</b>	ノイズリダクション (NR) ..... 37	リサイジング ..... 42
電源の切りかた ..... 29	<b>を使う ..... 35</b>	TVシステム ..... 37	オートセットアップ ..... 42
<b>オンスクリーンメニューに</b>	<b>映像を調整する ..... 36</b>	白バランスR/G/B ..... 38	フレームロック ..... 42
<b>ついて ..... 30</b>	映像モード ..... 36	sRGBに対応した映像にするには ... 38	<b>音声を調整する ..... 43</b>
メニュー画面一覧 ..... 30	色温度設定 ..... 37	<b>ポジションを調整する ... 39</b>	<b>表示言語を切り換える ... 43</b>
メニュー画面の操作方法 ..... 33	色の濃さ ..... 37	ポジション ..... 39	
前の画面に戻す ..... 33	色あい ..... 37	ドットクロック ..... 40	
調整値を工場出荷設定に戻す ..... 34	黒レベル ..... 37	クロックフェーズ ..... 40	
<b>フリーズ機能を使う ..... 34</b>	ピクチャー ..... 37	台形補正 ..... 40	
	シャープネス ..... 37	OSD表示位置 ..... 41	
		アスペクト ..... 41	
<b>オプション設定 ..... 44</b>	ファン制御 ..... 45	<b>レンズを調整する ..... 48</b>	<b>端子部カバーとして使う... 54</b>
シャッター ..... 44	WEB制御 ..... 45	<b>投写レンズを交換する ... 49</b>	<b>リモート端子を使う ..... 55</b>
OSD表示 ..... 44	WEB電源 ..... 45	投写レンズごとの投写距離 ..... 50	<b>シリアル端子 ..... 56</b>
自動台形補正 ..... 44	WEBパスワード ..... 45	<b>スロットカバーを交換する ... 52</b>	接続 ..... 56
R G B / Y P b P r ..... 44	操作キー ..... 45	<b>電源コード・リモコンを</b>	ピン配列と信号名 ..... 56
R G B 2 入出力選択 ..... 44	F U N C 1 設定 ..... 45	<b>収納する ..... 53</b>	通信条件 ..... 56
バックカラー ..... 44	ID設定 ..... 46		基本フォーマット ..... 56
投写方式 1 ..... 44	オートパワーオフ ..... 46		制御コマンド ..... 57
投写方式 2 ..... 45	<b>ネットワーク設定 ..... 47</b>		ケーブル仕様 ..... 57
ランプパワー ..... 45	<b>SDカード設定 ..... 47</b>		
ランプ時間 ..... 45	<b>対応信号リスト ..... 61</b>	<b>ランプを交換する ..... 63</b>	<b>仕様 ..... 68</b>
<b>モニターランプに</b>	<b>エアフィルター</b>	ランプユニット交換上のお願ひ ..... 63	<b>保証と</b>
<b>ついて ..... 58</b>	<b>清掃・交換 ..... 62</b>	ランプユニットの交換時期 ..... 63	<b>アフターサービス ..... 70</b>
<b>オートセットアップに</b>	清掃手順 ..... 62	ランプユニットの交換手順 ..... 64	<b>外形寸法図 ..... 71</b>
<b>ついて ..... 60</b>		<b>修理を依頼される前に ... 66</b>	

# 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は絵表示の一例です。)

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

## **警告**

煙やへんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く

 そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

- ・ 煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
- ・ お客様による修理は危険ですからおやめください。

天井取り付け(天つり)などの設置工事は専門の技術者に依頼する

 工事の不備があると事故の原因となります。

雷が鳴り出したら、本機やケーブルに触れない

 感電の原因となります。

接触禁止

## **警告**

使用中は投写レンズをのぞかない

 投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと目を痛める原因となります。  
禁止

- ・ 特に小さなお子様にはご注意ください。また、本機から離れる場合は主電源を切ってください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない

 たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。  
禁止

カバー、ケースを外したり、改造したりしない

  分解禁止

内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

 **高圧注意**  
サービスマン以外の方は、ケースをあけないでください。内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

- ・ 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない

 強度が弱い所や不安定な場所に設置すると、落下などで大きな事故やけがの原因となります。  
禁止

内部に異物や水などが入ったり、落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く

 火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

- ・ 修理は販売店にご依頼ください。

電源プラグのほこりは定期的に掃除をする

 電源プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良になり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ・ 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

 感電の原因となります。

ぬれ手禁止

## 警告

電源プラグは根元まで  
確実に差し込む



差し込みが不完全です  
と感電や発熱による火  
災の原因となります。

- ・ 傷んだプラグ・ゆるんだコ  
ンセントは使用しないでく  
ださい。

電源コード・電源プラ  
グを破損するようなこ  
とはしない



傷つけたり、加工した  
り、熱器具に近づけたり、  
無理に曲げたり、  
ねじったり、引っ張っ  
たり、重い物を載せたり、  
束ねたりしないで  
ください。

- ・ 傷んだまま使用すると、感  
電・ショート・火災の原因  
となります。
- ・ コードやプラグの修理は、  
販売店にご相談ください。

水をかけたり、ぬらし  
たりしない



火災・感電の原因とな  
ります。

水ぬれ  
禁止

風呂場、シャワー室で  
は使用しない



火災・感電の原因とな  
ります。

禁止

上に水などが入った容  
器を置かない



水がこぼれたり、中  
に入った場合、火災・感  
電の原因となります。

禁止

- ・ 水が内部に入ったときは、  
販売店にご相談ください。

異物を入れない



内部に金属類や燃えや  
すいものなどを差し込  
んだり、落とし込んだ  
りしないでください。  
火災・感電の原因とな  
ります。

禁止

リモコンを子供に使用  
させたり、レーザー光  
をのぞきこんだり、人  
に向けない



リモコンより発射され  
るレーザー光を、直接  
目に当てますと、視力  
低下などの原因になる  
ことがあります。

禁止

電池の+・-部に金属  
物(ネックレスやヘアピ  
ンなど)を接触させない



液もれ・発熱・破裂・  
発火の原因となります。

禁止

- ・ ビニール袋などに入れ、金  
属と接触させないようにし  
てください。

## 警告

排気孔には手や物を近  
づけない



空気吹き出し口からは  
熱風が出ています。手  
や顔を近づけたり熱に  
弱いものを置くとやけ  
どや変形の原因となり  
ます。

禁止

SDメモリーカードは、  
乳幼児の手の届くところ  
に置かない  
(TH-L780NTのみ)



飲み込むと窒息死の原  
因となります。

- ・ 万一、飲み込んだ  
と思われるときは  
すぐに医師にご相談  
ください。

禁止

ランプ交換を行う前に、  
必ず電源プラグをコン  
セントから抜く



感電や破裂の原因とな  
ります。

電源プラ  
グを抜く

ランプユニットの交換  
は、ランプが冷えてから  
(1時間以上待つて)行う



カバー内部がかなり熱  
く、やけどの原因になり  
ます。

## 注意

電源プラグを抜くとき  
は、コードを持たずに必  
ずプラグを持って抜く



コードをひっぱるとコ  
ードが破損し、感電・  
ショート・火災の原因  
となることがあります。

上に重い物を置かない

バランスがくずれて倒  
れたり、落下して、け  
がの原因となることが  
あります。

移動させる場合は、必  
ず接続線を外す



接続したまま移動させ  
ると、コードが傷つき、  
火災・感電の原因とな  
ることがあります。

エアフィルター部や  
排気孔をふさがない



内部に熱がこもり、火  
災の原因となることが  
あります。

禁止

## ⚠ 注意

電池はショート、分解、加熱、火・水に入れるなどしない



発熱、液もれ、破裂などを起こし、けがややけどの原因になることがあります

電池を入れるときは極性表示(+と-の向き)に注意する



間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。

指定以外の電池を使用しない



破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。

新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない



間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



感電の原因となる場合があります。

電源プラグを抜く

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



火災・感電の原因となることがあります。

ランプが破裂したときには以下のことを守り正しく取り扱う



本機の内部やランプハウス内にはガラス片が散乱している可能性があります。

- ・ 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。
- ・ 通風口よりガスや粉塵が出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれています。万が一吸い込んだり、目に入ったたり、口に入った場合は直ちに医師にご相談ください。

1年に1度は内部の清掃を販売店に依頼する



本機の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災の原因となることがあります。

- ・ 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。販売店にご依頼ください。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

## ⚠ 注意

本機に乗らない



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

- ・ 特に小さなお子様にはご注意ください。

ケーブルカバーを持って、本機を持ち上げない

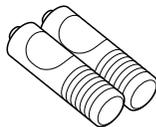
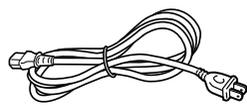
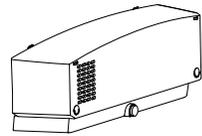
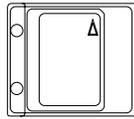


ケーブルカバーが外れ、本体が落下して、けがの原因となることがあります。

禁止

## 付属品を確認する

下図の付属品が入っていることを確認してください。

<p>リモコン 1個 (N2QAEA000010)</p> 	<p>RGB信号ケーブル 1本 (3.0 m VGA用、 K1HA15FA0001)</p> 	<p>リモコン用単4形乾電池 2個</p> 
	<p>電源コード 1本 (K2CA2FZ00007)</p> 	<p>ケーブルカバー 1個 (TXFKR01VJN1)</p> 
<p>USBケーブル 1本 (K1HB04FD0002)</p> 	<p>SDメモリーカード 1個 (8MB、RP-SD008BEZ0) (TH-L780NTのみ)</p> 	<p>SDメモリーカード用保護 ケース 1個(RP-SDCC0) (TH-L780NTのみ)</p> 
<p>CD-ROM 1個 (TQBH9003) (TH-L780NTのみ)</p> 	<p>スロットカバー(プロジェクターLANカード用) (TKKL5243)(TH-L780NTのみ)</p> 	

# お手入れ/上手な使いかた

## 運搬上の留意点

運搬中は必ずレンズカバーを取り付けてください

投写レンズは、振動や衝撃に対して影響を受けやすい部品です。運搬時に振動や衝撃を与えないようご注意ください。

## 設置に関する留意点

本機の設置については下記の事項を必ずお守りください。

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください

動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両・船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください

高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

本機を天井に取り付ける場合は必ず専門の技術者にご依頼ください

天井からつり下げて設置される場合は、別売りの天つり金具(品番：TY-PK780)をお買い求めのうえ、取り付け工事を専門の技術者にご依頼ください。

海拔1400m以上でのご使用に際しては、45ページの「ファン制御」を「高」に設定してください。

そのまま使用すると部品の寿命等に影響を及ぼす恐れがあります。

## 使用上の留意点

美しい映像をご覧いただくために

スクリーン面に外光や照明などの光が入ると、ハイコントラストで美しい映像を見ることができません。窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの配慮をしてください。

投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れがつくと、拡大されてスクリーンに映りますのでレンズ面には手をふれないでください。また本機を使用されないときは、レンズカバーを被せておいてください。

スクリーンについて

ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

SDメモリーカードについて(TH-L780NTのみ)

人体からの静電気によって、SDメモリーカードを破損させる恐れがあるため、カードに触れる前にアルミサッシやドアのノブなど身近な金属に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

本機のカードスロットについて(TH-L780NTのみ)

本機のカードスロットとSDメモリーカードスロットに異物など入れないでください。異物を入れたまま別売りのワイヤレスカードやSDメモリーカードなどを挿入すると、損傷の原因となることがあります。

ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプにはつぎのような特性があります。

- ・ 使用時間の経過とともに、ランプの輝度が低下します。
- ・ 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。
- ・ 個体差や使用条件によって寿命に大きなバラツキがあります。特に10時間以上の連続使用では寿命に大きな影響を及ぼします。また、短時間点滅繰り返し使用においても寿命に大きな影響を及ぼします。その理由は短時間点滅では管球ガラスの黒化を抑制する作用(ハロゲンサイクル作用)が充分働かないためです。
- ・ ごくまれに使用後まもなく破裂することがあります。
- ・ 交換時期を越えると破裂の可能性が高くなります。

廃棄について

本機を廃棄する場合は、販売店に依頼するか専門の業者に依頼してください。

液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されており、投写画面の一部にドット欠けや、常時点灯が存在する場合がありますが、あらかじめご了承ください。

光学部品について

毎日6時間以上連続使用される場合、1年未満でも液晶パネル、偏光板などの光学部品の交換が必要になることがあります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

## 注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## お掃除とお手入れ

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットは柔らかい乾いた布で

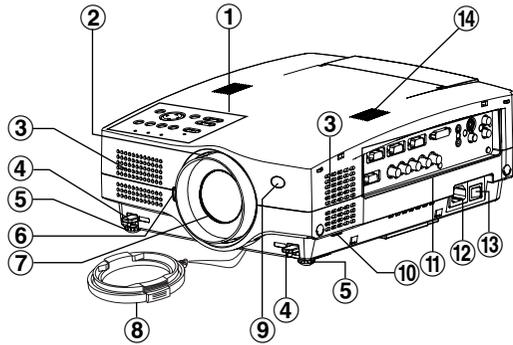
汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤(中性)にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

レンズ面は毛羽だつ布やほこりのついた布でふかないでください

レンズにゴミやほこりが付着しますとスクリーン面へ、ゴミやほこりが拡大されて映ります。やわらかいきれいな布でふいてください。

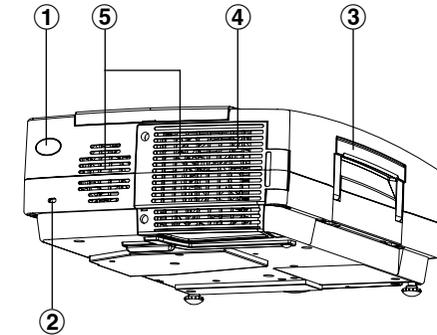
# 各部の名前と働き

## 本体前面・上面



- ① 本体操作部  
(14ページ)
- ② フォーカスリング  
(29、48ページ)
- ③ 吸気孔  
ふさがないようにしてください。
- ④ アジャスターボタン(左・右)  
(28ページ)  
本機底面の前方アジャスター脚のロックを解除できます。押しながら本機の傾きを調整します。
- ⑤ 前方アジャスター脚(左・右)  
(28ページ)
- ⑥ レンズロックボタン  
(49ページ)  
別売りの投写レンズをご使用の際に使用します。
- ⑦ 投写レンズ
- ⑧ レンズカバー
- ⑨ リモコン受光部(前)  
(20ページ)
- ⑩ エアフィルター  
(62ページ)
- ⑪ 接続端子部  
(16ページ)
- ⑫ AC入力(AC IN)端子  
(28ページ)  
付属の電源コードを接続します。付属のもの以外は接続しないでください。
- ⑬ 主電源(MAIN POWER)スイッチ  
(28、29ページ)
- ⑭ スピーカー

## 本体後面・底面



- ① リモコン受光部(後)  
(20ページ)
- ② 盗難防止用ロック  
市販の盗難防止用ケーブル(Kensington社製)などを接続することができます。また、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総代理店の連絡先は以下の通りです。  
日本ポラデジタル株式会社  
第3営業部  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル  
Tel : 03-3537-1070  
Fax : 03-3537-1071  
連絡先は変更になる可能性がありますのでご了承ください。
- ③ キャリングハンドル
- ④ ランプユニット収納部  
(63ページ)
- ⑤ 排気孔  
ふさがないようにしてください。

## 警告

排気孔には手や物を近づけない



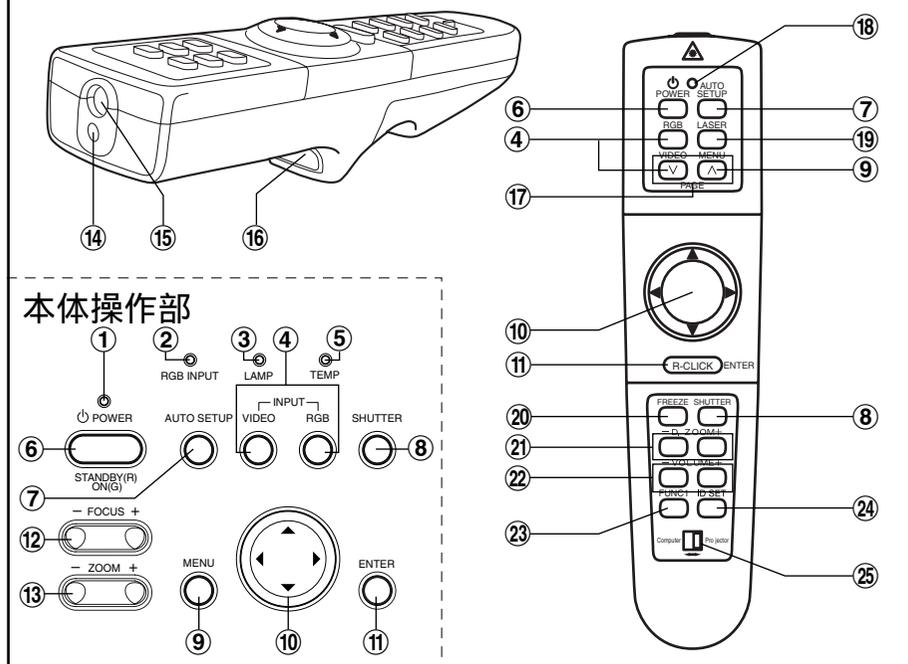
禁止

空気吹き出し口からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

## お知らせ

- ・ 映像投写中は、冷却ファンが回転するため動作音があります。また、ランプ点灯時や消灯時は動作音が大きくなります。
- ・ 「オプション」メニューの「ランプパワー」を「低」に設定すると、動作音が低減します。(45ページ参照)

## リモコン



- ①電源モニター (28、29、45ページ)  
主電源を入れると赤色に点灯し、電源が入り投写を開始すると緑色に点灯します。  
(TH-L780NTのみ)  
WEBスタンバイ時は、冷却ファンが回転したまま、ゆっくりと赤色に点滅します。
- ②RGB入力(RGB INPUT)モニター  
入力切り換えで選択した入力端子に信号が入力されていると点灯します。
- ③ランプ(LAMP)モニター (59ページ)  
ランプユニットの交換時期になると点灯します。ランプ回路に異常が発生すると点滅します。
- ④入力切り換え(RGB、VIDEO)ボタン (28ページ)
- ⑤温度(TEMP)モニター (58ページ)  
周囲温度または本機の内部温度が異常に上昇すると点灯します。一

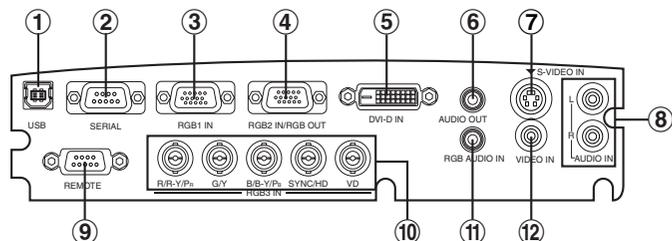
- 定温度を超えると自動的に電源が切れて点滅します。
- ⑥電源(POWER)ボタン (28、29ページ)
- ⑦オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタン (29、60ページ)  
映像を投写してこのボタンを押せば、入力信号にあわせて自動調整します。さらに、本機の傾きを検知して台形歪を自動的に補正します。(調整中は画面に「自動位置補正」と表示されます。)台形歪補正による画質劣化を防止するには、「オプション」メニューの「自動台形補正」を「オフ」に設定してください。

### お知らせ

- ・ オプションレンズ装着時は台形歪が最適には補正されません。40ページの台形補正を参考に調整してください。

- ⑧シャッター(SHUTTER)ボタン (44ページ)  
映像と音声を一時的に消すことができます。
- ⑨メニュー(MENU)ボタン (30、33ページ)  
メインメニューを表示させます。メニューが表示されている時は、前の画面に戻したり、メニューを閉じたりすることができます。
- ⑩▲▼◀▶ボタン (33ページ)  
オンスクリーンメニューで項目を選択したり、設定の切り換え、調整を行うことができます。  
リモコンのパソコン操作モード時は機能が異なります。(19ページ)
- ⑪エンター(ENTER)ボタン (33ページ)  
オンスクリーンメニューで、項目の決定や実行をすることができます。  
リモコンのパソコン操作モード時は、機能が異なります。(19ページ)
- ⑫フォーカス(FOCUS)ボタン (29ページ)  
+/- ボタンでフォーカスの調整をすることができます。
- ⑬ズーム(ZOOM)ボタン (29ページ)  
+/- ボタンで画像サイズの調整をすることができます。
- ⑭レーザー光発射部 (18ページ)
- ⑮赤外線発射部 (20ページ)
- ⑯クリックボタン (19ページ)  
リモコンのパソコン操作モード時に使用します。
- ⑰ページ(PAGE)ボタン (19ページ)
- リモコンのパソコン操作モード時に使用します。
- ⑱リモコン操作表示ランプ (18ページ)  
レーザー光を発射している(レーザー[LASER]ボタンを押している)間は点灯します。それ以外のボタンを押している間は点滅します。
- ⑲レーザー(LASER)ボタン (18ページ)  
ボタンを押している間、レーザー光を発射します。レーザー光をスクリーンに当たることにより、ポインターとして利用できます。
- ⑳フリーズ(FREEZE)ボタン (34ページ)  
動画を一時的に静止させます。
- ㉑デジタルズーム(D.ZOOM +/-)ボタン (35ページ)  
映像を拡大することができます。
- ㉒音量(VOLUME +/-)ボタン  
内蔵スピーカーの音量を調整します。本体で調整する場合は43ページをご覧ください。
- ㉓ファンクション1(FUNC1)ボタン (40、43、45ページ)  
音声ミュートを切り換えたり、台形歪調整モード(台形補正)に切り換えることができます。「オプション」メニュー内の「FUNC1設定」で切り換えることができます。
- ㉔IDセット(ID SET)ボタン (21ページ)  
本体を複数台使用するシステム時、リモコンのIDを設定します。
- ㉕操作モード切り換え(Computer, Projector)スイッチ (19ページ)  
パソコンを操作するときは左側、プロジェクターを操作するときは右側に切り換えます。

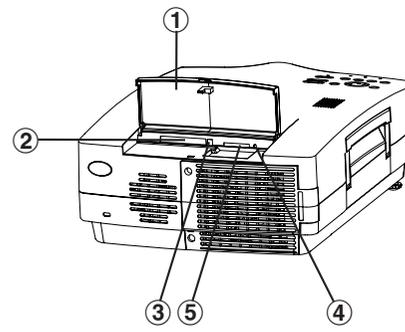
## 接続端子部



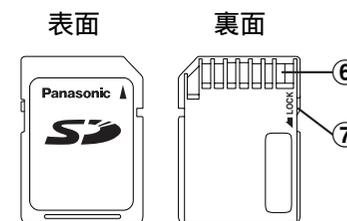
- ① USB端子  
(19ページ)  
付属のUSBケーブルを本機とパソコン間に接続してリモコンをマウス代わりに使用できます。(角型4ピンAタイプ)
- ② シリアル(SERIAL)端子  
(24、25、56ページ)  
パソコンから本機を制御するための端子です。(RS-232C準拠)
- ③ RGB1入力(RGB1 IN)端子  
(24、25ページ)  
RGB信号またはYPbPr信号を入力する端子です。
- ④ RGB2入力/RGB出力(RGB2 IN/RGB OUT)端子  
(24、25ページ)  
RGB信号またはYPbPr信号を入力出力する端子です。「オプション」メニューの「RGB2入出力選択」で入出力の切り換えができます。
- ⑤ DVI-D入力(DVI-D IN)端子  
(25ページ)  
DVI-D信号を入力する端子です。
- ⑥ 音声出力(AUDIO OUT)端子  
(24、25ページ)  
本機に入力された音声信号を出力します。この端子に接続すると内蔵スピーカーからは音声が出ません。
- ⑦ Sビデオ入力(S-VIDEO IN)端子  
(24、42ページ)  
Sビデオ対応のビデオデッキなどからの信号を入力する端子です。S1信号に対応しており入力信号のサイズに合わせて16:9または4:3に自動切り換えします。
- ⑧ ビデオ/Sビデオ用音声入力(AUDIO IN L-R)端子  
(24ページ)  
1系統しかありませんのでビデオとSビデオで差し替えて使用してください。
- ⑨ リモート(REMOTE)端子  
(55ページ)  
本体を外部制御回路を使用して遠隔操作することができます。
- ⑩ RGB3入力(RGB3 IN)端子  
(24、25ページ)  
RGB信号またはYPbPr信号を入力する端子です。
- ⑪ RGB音声入力(RGB AUDIO IN)端子  
(24、25ページ)  
1系統しかありませんのでRGB1、RGB2とRGB3で差し替えて使用してください。
- ⑫ ビデオ入力(VIDEO IN)端子  
(24ページ)  
ビデオデッキなどの映像信号を入力する端子です。

(TH-L780NTのみ)

## カード挿入部



## SDメモリーカード



- ① スロットカバー  
内部にカードスロットがあります。プロジェクターLANカードを使用する場合は52ページを参考にスロットカバーを交換してください。
- ② カードスロット  
別売りのワイヤレスカードやプロジェクターLANカードを挿入できます。
- ③ イジェクトスイッチ  
別売りのワイヤレスカードやプロジェクターLANカードを取り外すときに使用します。
- ④ アクセスランプ  
SDメモリーカードの読み書き中に点滅します。
- ⑤ SDメモリーカードスロット  
SDメモリーカードを挿入できます。
- ⑥ 金属端子部  
SDメモリーカードスロットへ接続する端子です。金属端子部を手や金属で触る、シールを貼る、あるいは汚したりしないでください。
- ⑦ 書き込み禁止スイッチ  
スイッチを「LOCK」にするとSDメモリーカードへ書き込みや削除、移動などができなくなります。

# リモコンの使いかた

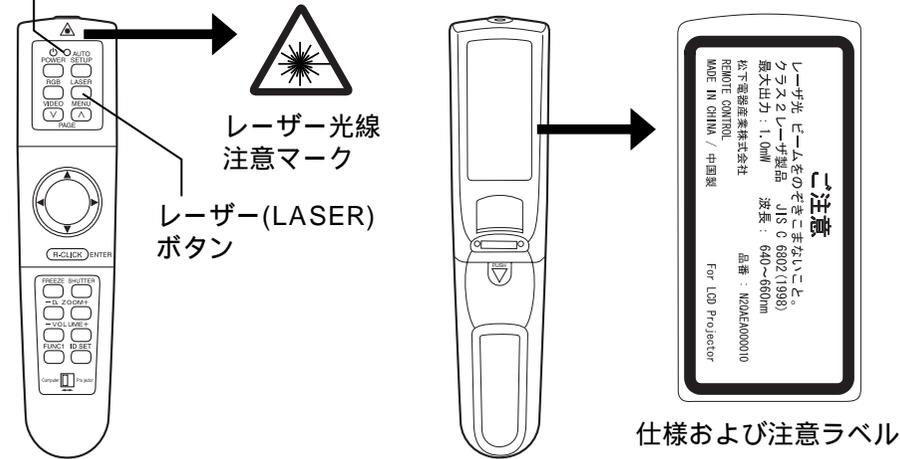
## レーザーポインター機能

リモコンから発射されるレーザー光をスクリーンに当てることによりポインターとして利用できます。

リモコンのレーザー(LASER)ボタンを押している間、リモコンからレーザー光が発射され操作表示ランプが点灯します。

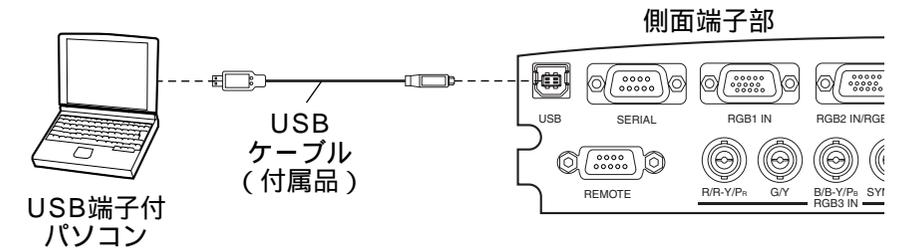
リモコンのレーザー発射口をのぞきこんだり、レーザー光を人に向けて発射すると、視力低下などの原因になることがありますので、ご注意ください。

### 操作表示ランプ

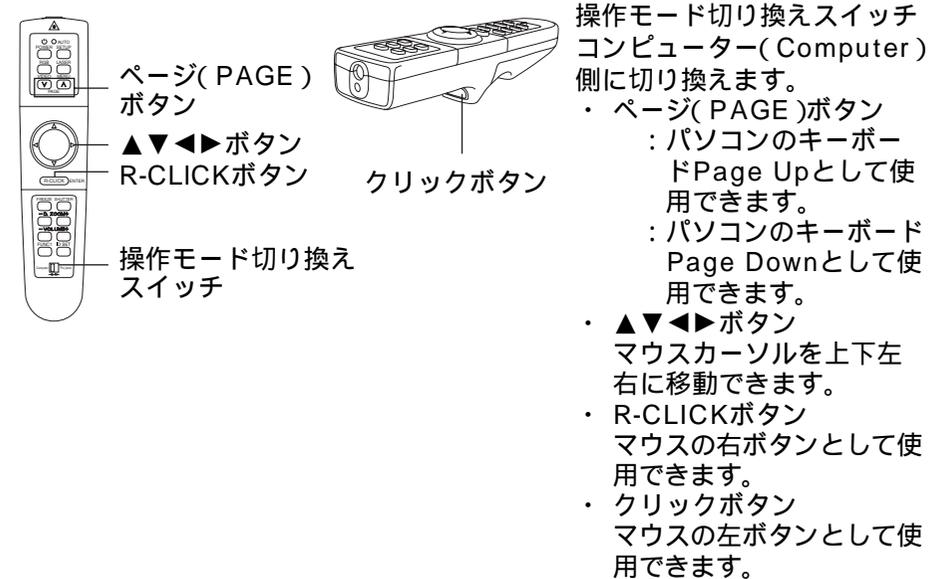


## ワイヤレスマウス機能

リモコンでパソコンを操作する場合は付属のUSBケーブルで本機とパソコンを接続します。



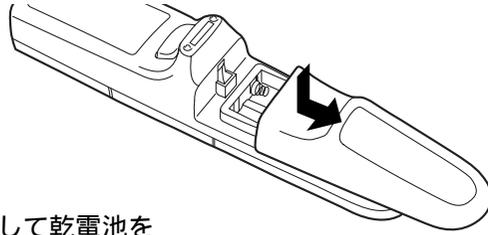
- Windowsに標準で付属するマウスドライバでそのまま使うことができます。(98SE、Me、2000、XP)  
マウスドライバのインストールが必要な場合は、各OSに付属の取扱説明書を参照してインストールしてください。



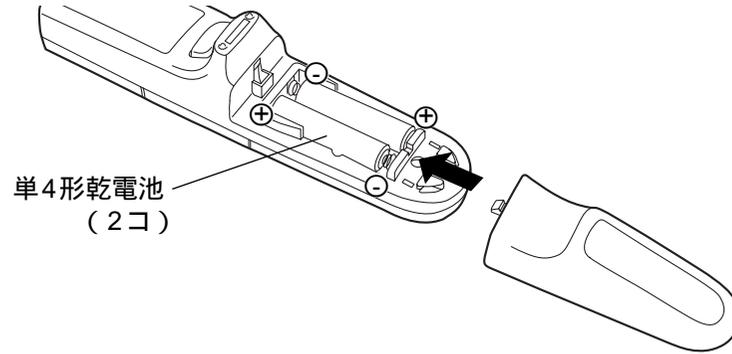
- お知らせ**
- USB端子のないパソコンでリモコンをマウスがわりに使用する場合は別売品のワイヤレスマウスレシーバー(品番：TW-RMRC1)をお買い求めください。

## 乾電池の入れかた

①ふたをあける。



②極性に注意して乾電池を入れ、ふたをしめる。



### お願い

- ・ リモコンは落とさないようにしてください。
- ・ リモコンに液状のものをかけないでください。
- ・ 長時間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- ・ 充電式電池は使用しないでください。

## 操作範囲

リモコンを直接、本機の前面/後面のリモコン受光部に向けて操作する場合は、受光部正面より約7 m以内でご利用ください。また、左右±30度・上下±15度まで操作可能です。

### お知らせ

- ・ リモコンと受光部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- ・ リモコン受光部に蛍光灯などの強い光が当たると、リモコンが誤動作する場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。
- ・ スクリーンに向けて操作する場合は、スクリーン特性による光反射ロスで操作有効範囲に制限がでる場合があります。

## リモコンのIDを設定する

本体を複数台並べて使用する場合に1つのリモコンで個別制御または同時制御するためには、リモコンのIDナンバーの設定と本体のIDナンバーを合わせる必要があります。下記の手順でリモコンのIDナンバーを設定してください。

- ① リモコンのIDセット (ID SET) ボタンを押す。  
IDナンバー「オール」がスクリーン上に表示されます。  
...電源 (POWER) 「入」時
- ② ID SET ボタンを2秒以上押しつづける。  
IDナンバー「1」が表示されIDセットボタンを押すごとに「2」、「3」、「オール」に切り換わります。
- ③ 設定したいIDナンバーを選択してエンター (ENTER) ボタンで設定する。

- ・ リモコンのIDと本体のIDが一致した時の表示について  
本体の電源 (POWER) が「入」のとき  
IDナンバーが白色でオンスクリーン上に表示されます。  
(一致しない場合は緑色で表示されます)  
本体がスタンバイ状態のとき  
本体の電源ランプが緑色で5秒間点滅します。  
(一致しない場合は赤色のままです)

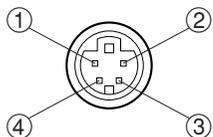
### お知らせ

- ・ 工場出荷時は「オール」に設定されていますので1台だけのご使用の場合はIDナンバーの設定は必要ありません。
- ・ リモコンと本体のIDナンバーの設定を合わせないとリモコンによる電源 (POWER) は入れることができません。本体のID設定のしかたは46ページをご覧ください。(セットIDの設定をご覧ください)

# 接続する

## 接続の前に

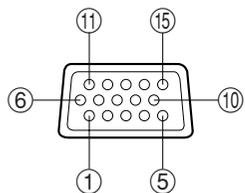
- ・ 接続の際は、接続される機器の取扱説明書もよくお読みください。
- ・ 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- ・ システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- ・ 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画面が乱れることがあります。この場合はタイムベースコレクター(TBC)の接続が必要です。
- ・ 本機はスピーカーを内蔵していますが、大きな音量を必要とする場合は音声出力(AUDIO OUT)端子にオーディオ機器の接続が必要です。ただし、音声出力(AUDIO OUT)端子を使用されると、内蔵スピーカーからは音声が出ません。
- ・ パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。61ページの対応信号リストをご覧ください。
- ・ Sビデオ入力(S-VIDEO IN)端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

ピンNo.	信号
①	アース(輝度信号)
②	アース(色信号)
③	輝度信号
④	色信号

- ・ RGB入力(RGB1 IN/RGB2 IN)端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

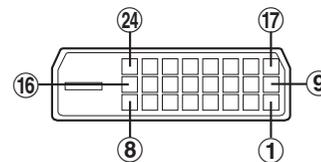
ピンNo.	信号
①	R/Pr
②	G/G・SYNC/Y
③	B/Pb
⑫	SDA
⑬	HD/SYNC
⑭	VD
⑮	SCL

は未使用

~、 、 はGND端子です。

、 はパソコン側に機能があれば有効です。

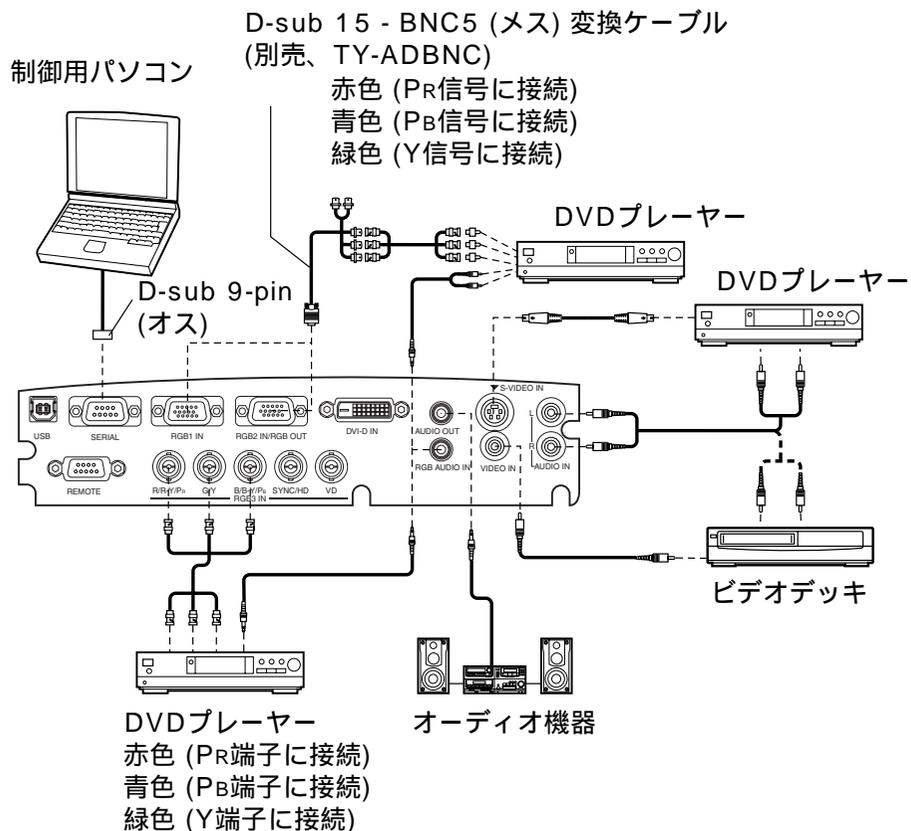
- ・ DVI-D入力端子のピン配列と信号名は、下記の通りです。(TMDS付パソコン用端子)



外側から見た図

ピンNo.	信号	ピンNo.	信号
①	T.M.D.Sデータ2 -	⑬	T.M.D.Sデータ3 +
②	T.M.D.Sデータ2 +	⑭	+ 5 V
③	T.M.D.Sデータ 2/4シールド	⑮	グラウンド
		⑯	ホットプラグ検出
④	T.M.D.Sデータ4 -	⑰	T.M.D.Sデータ0 -
⑤	T.M.D.Sデータ4 +	⑱	T.M.D.Sデータ0 +
⑥	DDCクロック	⑲	T.M.D.Sデータ 0/5シールド
⑦	DDCデータ		
⑧		⑳	T.M.D.Sデータ5 -
⑨	T.M.D.Sデータ1 -	㉑	T.M.D.Sデータ5 +
⑩	T.M.D.Sデータ1 +	㉒	T.M.D.Sクロック シールド
⑪	T.M.D.Sデータ 1/3シールド		
⑫	T.M.D.Sデータ3 -	㉓	T.M.D.Sクロック +
		㉔	T.M.D.Sクロック -

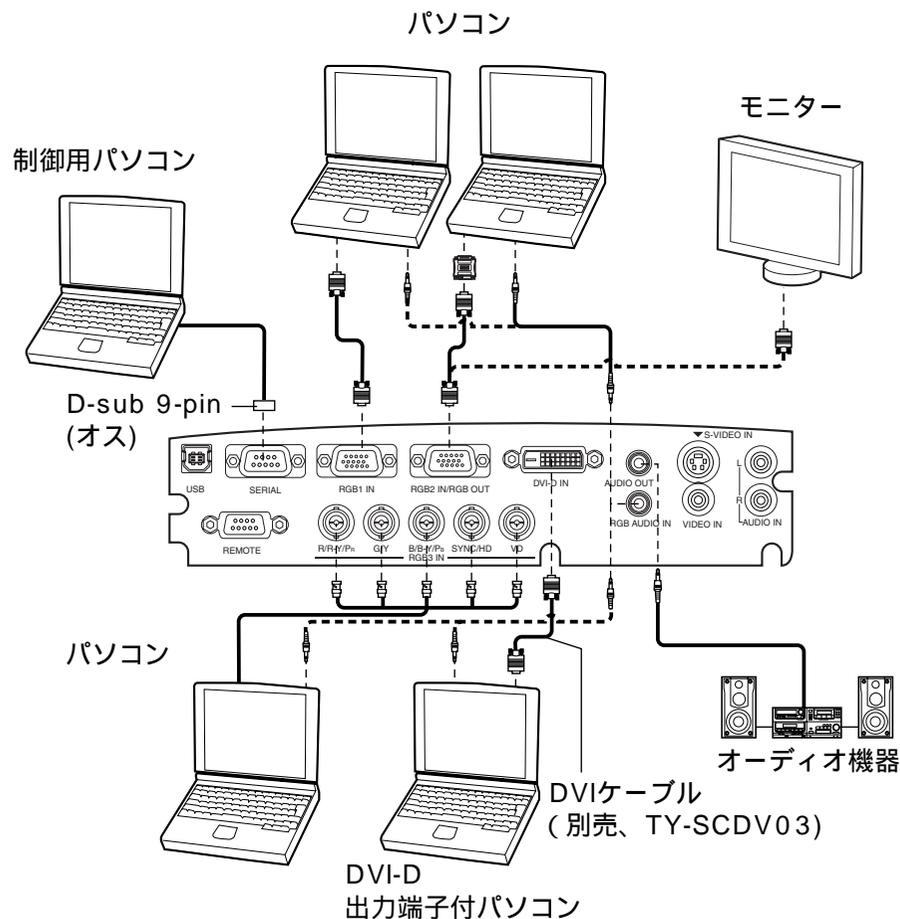
## AV機器との接続例



### お知らせ

- ビデオ/Sビデオ用音声入力(AUDIO IN L-R)端子は1系統しかないので、使用される信号に合わせ差し換えが必要になります。
- RGB音声入力(RGB AUDIO IN)端子は1系統しかないので、使用される信号に合わせ差し換えが必要になります。
- 音声出力(AUDIO OUT)端子にオーディオ機器を接続しているときは、本機に付属のリモコンで音量を調整することができます。
- BNC接栓付きケーブルでビデオ信号を接続する場合は、BNC-ピン変換アダプター(市販品)でピンジャックに変換してご使用ください。
- 本機に接続できるYPbPr信号は、61ページの対応信号リストを参照ください。
- デジタルズーム中に、信号ケーブルを抜いたり、パソコンやビデオデッキの電源を切ると、デジタルズーム機能が解除されます。

## パソコンとの接続例



### お知らせ

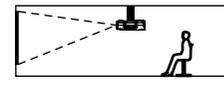
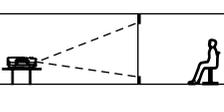
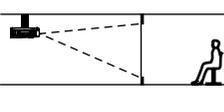
- 本機の主電源を切る前には、パソコンの電源を切ってください。
- 本機に接続できるパソコンからのRGB信号は、61ページの対応信号リストを参照ください。
- 「オプション」メニューの「RGB2入出力選択」を「出力」に設定しているときは、RGB2入力/RGB出力(RGB2 IN/RGB OUT)端子に信号を入力しないでください。(44ページ参照)

別売のワイヤレスカードやプロジェクターLANカードを使用した本機とパソコンとの通信については、付属のCD-ROMをご覧ください。  
(TH-L780NTのみ)

# 設置する

## 投写方式

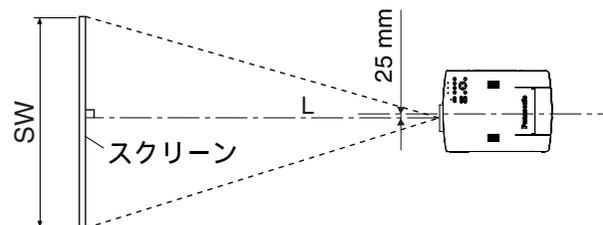
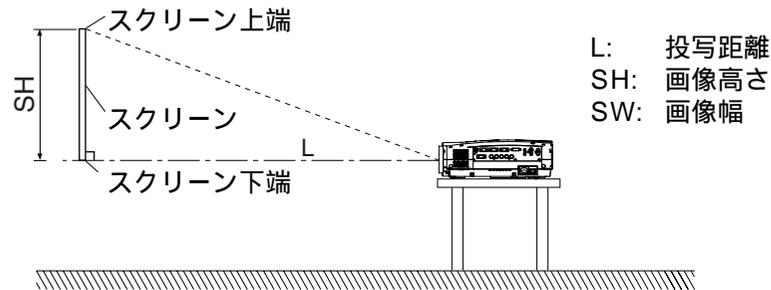
本機は、下図の4通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。(投写方式の設定はオプションメニューで行うことができます。44、45ページをご覧ください。)

		投写方式2	
		フロア	シーリング
投写方式1	フロント	 (工場出荷状態)	
	リア		

### お知らせ

- ・ 天つり(シーリング)設置には、別売りの天つり金具(TY-PK780)が必要です。

## 投写関係



## 投写距離

画面サイズ(4:3)			投写距離(L)	
対角(型)	高さ(SH)	幅(SW)	ワイド(LW)	テレ(LT)
40	0.61 m	0.81 m	1.6 m	2.0 m
50	0.76 m	1.02 m	2.0 m	2.6 m
60	0.91 m	1.22 m	2.4 m	3.1 m
70	1.07 m	1.42 m	2.8 m	3.6 m
80	1.22 m	1.63 m	3.2 m	4.2 m
90	1.37 m	1.83 m	3.6 m	4.7 m
100	1.52 m	2.03 m	4.0 m	5.3 m
150	2.29 m	3.05 m	6.1 m	7.9 m
200	3.05 m	4.06 m	8.1 m	10.6 m
250	3.81 m	5.08 m	10.1 m	13.3 m
300	4.57 m	6.10 m	12.2 m	16.0 m

上記の表以外の投写寸法は下記の計算式で求めることができます。画面サイズ(対角)をSD(型)とすると、ワイド時の投写距離(LW)、テレ時の投写距離(LT)を下記の計算式で求めることができます。

$$LW=0.0407 \times SD - 0.080$$

$$LT=0.0538 \times SD - 0.0774$$

16:9の場合は、下記の計算式で投写距離を求めることができます。

$$LW=0.0443 \times SD - 0.080$$

$$LT=0.0586 \times SD - 0.0774$$

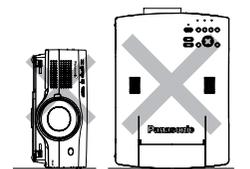
### お知らせ

- ・ 上記の表の寸法や計算式で求められる値は若干の誤差があります。
- ・ 16:9の投写距離で設置した場合は、スクリーンに対して4:3の投写映像が上下にはみ出します。



### お願い

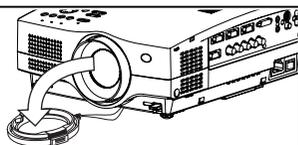
- ・ 本機を立てて使用しないでください。故障の原因となります。
- ・ 本機を傾ける場合は、±35度以内の設置をおすすめします。本機を±35度以上傾けた状態で使用されると部品の寿命等に影響を及ぼす恐れがあります。(排気部の空間は十分とってください。)



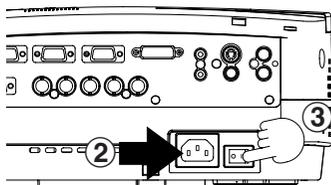
# 投写する

電源を入れる前に準備(22～27ページ)を完了させてください。

① レンズカバーをはずす。

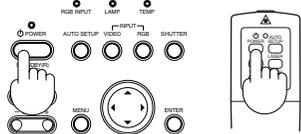


② 付属の電源コードを接続する。

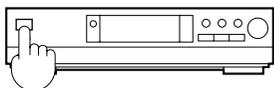


③ 主電源(MAIN POWER)スイッチの「**I**」側を押して電源を入れる。本体の電源モニターが赤色に点灯します。

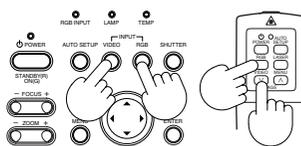
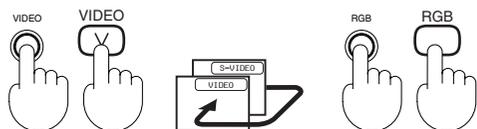
④ 電源(POWER)ボタンを押す。本体の電源モニターが緑色に点滅します。しばらくすると、緑色に点灯し映像が投写されます。



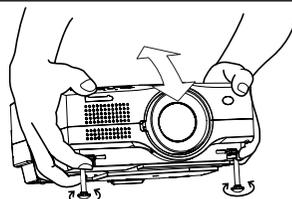
⑤ 接続機器の電源を入れる。DVDプレーヤー等は再生操作を行ってください。



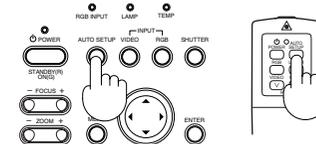
⑥ 入力切り換え(RGB、VIDEO)ボタンを押して入力信号を選択する。入力切り換え(RGB、VIDEO)ボタンを押すと下図のように入力信号が切り換わります。



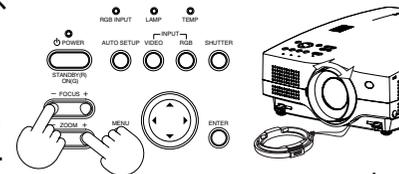
⑦ アジャスターボタンを押しながら本機の前後の傾きを調整する。脚を回して微調整する。(脚を伸ばしきった状態で反時計方向に回しきるとアジャスターボタンが作動しません。脚を時計方向に回すと作動するようになります。)



⑧ オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押して、自動位置補正を実行する。自動位置補正では、縦方向の台形歪を補正します。横方向の台形歪や、最適に補正されない場合は、40ページに記載の台形補正を行ってください。



⑨ フォーカス(FOCUS+/-)ボタン・ズーム(ZOOM+/-)ボタンで画像のピントを合わせたり、投写画像サイズを調整する。本機のフォーカスリングでもフォーカスの調整ができます。(微調整はフォーカス(FOCUS+/-)ボタンで行ってください。)

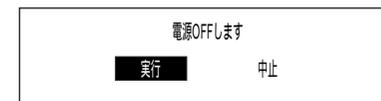


フォーカス

## 電源の切りかた

① 電源(POWER)ボタンを押す。

② ◀▶ ボタンで「実行」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押す。



ランプが消え映像の投写を停止します。(本体の電源モニターがオレンジ色に点灯します。投写は停止しますが、冷却ファンは回転しています。)

③ 本体の電源モニターが赤色に点灯する(冷却ファンが停止する)まで待つ。冷却ファンが回転している間は絶対に主電源(MAIN POWER)スイッチを切ったり、電源コードを抜いたり、テーブルタップの電源スイッチを落としたりしないでください。

④ 主電源(MAIN POWER)スイッチの「**I**」側を押して電源を切る。

## お知らせ

- 電源を切ったあとの光源ランプ冷却中に電源を入れると、すぐには点灯せず、しばらくたってから自動的に点灯します。(この間は、本体の電源(POWER)モニターがオレンジ色に点滅します。)
- 本機はスタンバイ状態で冷却ファンが停止(本体の電源モニターが赤色に点灯)した状態でも約3.5 Wの電力を消費しています。
- 使用中に間違えて主電源を切った場合などは、電源を入れてもただちに光源ランプが点灯しないことがあります。この場合、しばらくたってから自動的に再点灯を行います。(この間は、本体の電源モニターが緑色に点滅します。)
- 光源ランプ点灯時に「チリチリ」という音がしますが、これは故障ではありません。
- 電源(POWER)ボタンを2回押しでも電源を切ることができます。

(TH-L780NTのみ)

- WEBスタンバイ時は、冷却ファンが回転したまま電源モニターがゆっくりと赤色点滅し、約4.2Wの電力を消費します。(45ページ参照)
- SDカードアクセス中は「SDカード利用中です」の表示がスクリーン上にされ、電源を切ることができません。

# オンスクリーンメニューについて

## メニュー画面一覧

本機では、各種設定や調整および変更はメニュー操作によって実行されます。本機のメニュー全体の構成は下図のとおりです。

### 映像 (36ページ)

#### RGB/DVI信号入力時

映像モード	スタンダード
色温度設定	標準
黒レベル	32
ピクチャー	32
シャープネス	6
白/バランスR	32
白/バランスG	32
白/バランスB	32
標準	

選択: [ ] [ ]      実行: [ENTER]  
調整: [ ] [ ]      終了: [MENU]

#### YPbPr信号入力時

映像モード	スタンダード
色温度設定	標準
色の濃さ	32
色あい	32
黒レベル	32
ピクチャー	32
シャープネス	2
ノイズリダクション	1
標準	

選択: [ ] [ ]      実行: [ENTER]  
調整: [ ] [ ]      終了: [MENU]

#### Sビデオ / ビデオ信号入力時

映像モード	スタンダード
色温度設定	標準
色の濃さ	32
色あい	32
黒レベル	32
ピクチャー	32
シャープネス	2
ノイズリダクション	1
TVシステム	AUTO1
標準	

選択: [ ] [ ]      実行: [ENTER]  
調整: [ ] [ ]      終了: [MENU]

#### NETWORK / SD CARD入力切替時 (TH-L780NTのみ)

映像モード	スタンダード
色温度設定	標準
黒レベル	32
ピクチャー	32
標準	

選択: [ ] [ ]      実行: [ENTER]  
調整: [ ] [ ]      終了: [MENU]

## お知らせ

- ・ オンスクリーン画面に台形補正は機能しません。

### ポジション (39ページ)

#### RGB/DVI信号入力時

ポジション	水平: 128	垂直: 32
ドットクロック	32	
クロックフェーズ	16	
台形補正	横: 0	縦: 0
OSD表示位置	左上	
リサイズング	オフ	オン
オートセットアップ		
フレームロック	オフ	オン
標準		

選択: [ ] [ ]      実行: [ENTER]  
調整: [ ] [ ]      終了: [MENU]

「ポジション」「ドットクロック」「クロックフェーズ」は、DVI信号入力時には表示されません。

#### Sビデオ / ビデオ信号入力時

ポジション	水平: 32	垂直: 16
台形補正	横: 0	縦: 0
OSD表示位置	左上	
アスペクト	AUTO	
リサイズング	オフ	オン
オートセットアップ		
標準		

選択: [ ] [ ]      実行: [ENTER]  
調整: [ ] [ ]      終了: [MENU]

### 音声 (43ページ)

音声	音量: 20
ミュート	オフ
標準	

選択: [ ] [ ]      実行: [ENTER]  
調整: [ ] [ ]      終了: [MENU]

### YPbPr信号入力時

ポジション	水平: 32	垂直: 32
台形補正	横: 0	縦: 0
OSD表示位置	左上	
アスペクト	4:3	
リサイズング	オフ	オン
オートセットアップ		
標準		

選択: [ ] [ ]      実行: [ENTER]  
調整: [ ] [ ]      終了: [MENU]

#### NETWORK / SD CARD入力切替時 (TH-L780NTのみ)

ポジション	横: 0	縦: 0
台形補正	横: 0	縦: 0
OSD表示位置	左上	
オートセットアップ		
標準		

選択: [ ] [ ]      実行: [ENTER]  
調整: [ ] [ ]      終了: [MENU]

### 言語 (43ページ)

言語	日本語
ENGLISH	ITALIANO
DEUTSCH	日本語
FRANÇAIS	中文
ESPAÑOL	

選択: [ ] [ ]      実行: [ENTER]  
調整: [ ] [ ]      終了: [MENU]

使  
い  
か  
た

## オプション (44ページ)



「RGB/YpPr」は、RGB/YpPr信号入力時に表示されます。



「WEB制御」「WEB電源」「WEBパスワード」は、TH-L780NTのみ表示されます。

## ネットワーク設定 (47ページ) (TH-L780NTのみ)



## SDカード (47ページ) (TH-L780NTのみ)

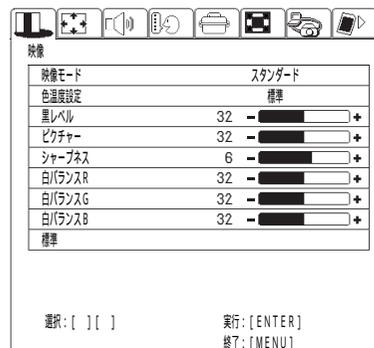


## レンズ調整 (48ページ)



## メニュー画面の操作方法

- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す。**  
メニュー画面を表示します。

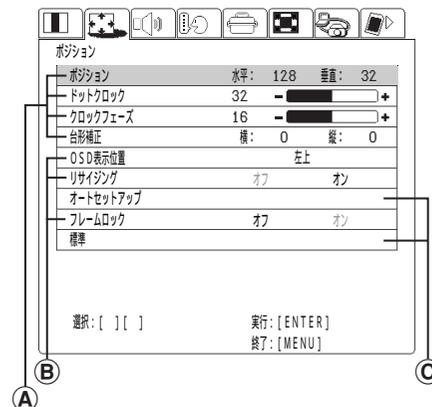


- ② **◀または▶ボタンを押して各メニューを選ぶ。**  
選択したメニューが表示されます。(例: ポジション)

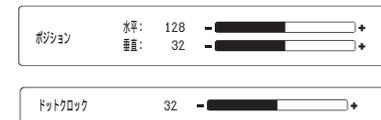


- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押し決定する。**  
各設定・調整項目が選択できるようになります。選択中の項目は黄色で表示します。

- ④ **▲または▼ボタンを押して項目を選ぶ。**



- ⑤ **調整項目の場合**  
エンター(ENTER)ボタンを押せば、個別調整画面が表示されます。



◀または▶ボタンを押して調整します。▲▼ボタンで調整できる項目もあります。パースケールのある項目では、メニュー画面上で◀または▶ボタンを押しても調整できます。

- ⑥ **設定項目の場合**  
◀または▶ボタンを押して切り換えます。

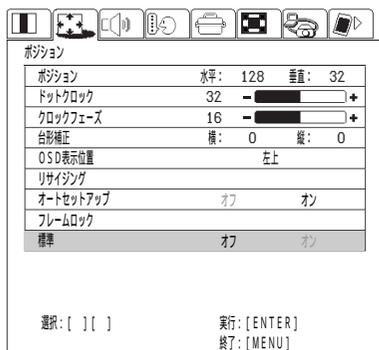
- ⑦ **項目名のみの場合**  
エンター(ENTER)ボタンを押して実行します。

前の画面に戻す  
メニュー(MENU)ボタンを押せば、1つ前の状態に戻ります。

調整値を工場出荷設定に戻す

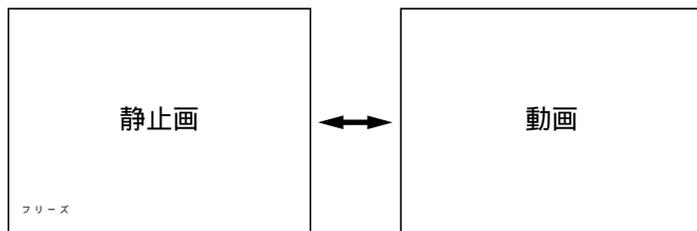
### お知らせ

- ・ ▲▼ボタンで映像メニュー、ポジションメニューの「標準」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押すと表示されている項目がすべて工場出荷時の状態に戻ります。
- ・ メニュー画面表示時



## フリーズ機能を使う

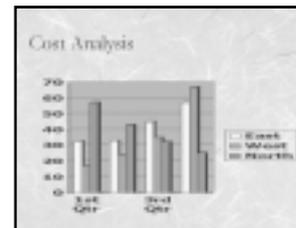
リモコンのフリーズ(FREEZE)ボタンを押すごとに静止画と動画を切り換えます。



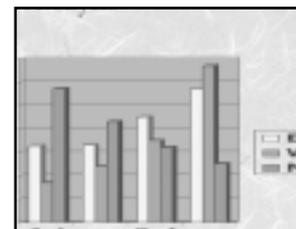
## デジタルズーム機能を使う

映像を拡大することができます。

- ① デジタルズーム(D.ZOOM +/-)ボタンを押す。



↓  
映像の中心を1.5倍で拡大した画面になります。



- ② ▲▼◀▶ボタンで拡大したい部分へ移動させる。
- ③ デジタルズーム(D.ZOOM +/-)ボタンで倍率を変える。  
倍率は1.0倍から4.0倍まで30段階で調整できます。
- ④ メニュー(MENU)ボタンを押し、元の画面に戻す。

### お願い

- ・ リモコンを使わなければ、この機能を利用することができません。
- ・ デジタルズーム中に入力信号の種類が変わると、デジタルズーム機能が解除されます。

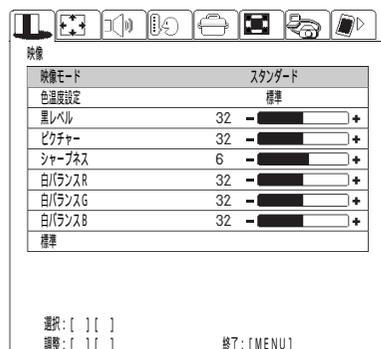
# 映像を調整する

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで項目を選択します。設定項目の場合、◀▶ボタンを押せば設定を切り換えることができます。調整項目の場合、エンター（ENTER）ボタンを押せば、個別調整画面が表示され、◀▶ボタンを押して調整できます。

## Sビデオ/ビデオ信号入力時



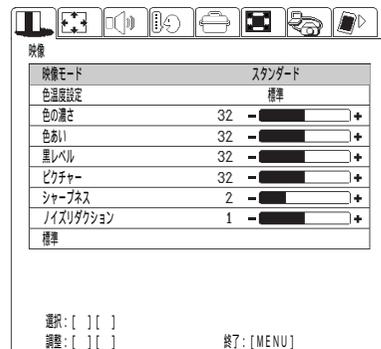
## RGB/DVI信号入力時



## NETWORK / SD CARD入力切替時 (TH-L780NTのみ)



## YPbPr信号入力時

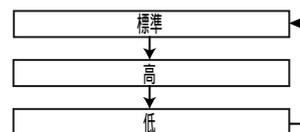


## 映像モード



映像ソースや部屋の環境に合わせて見やすい映像に切り換えることができます。暗い部屋で使用する場合は「ナチュラル」に、標準的な明るさで使用する場合は「スタンダード」に、明るい場所で使用される場合は「ダイナミック」に設定してください。

## 色温度設定



映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えてください。

## 色の濃さ

(Sビデオ/ビデオ/YPbPrのみ)  
色が濃い場合は◀ボタンを、うすい場合は▶ボタンを押してください。

## 色あい

(NTSC/NTSC4.43/YPbPrのみ)  
肌色の部分を調整します。緑色がかかった色の場合は◀ボタンを、赤紫色がかかった色の場合は▶ボタンを押してください。

## 黒レベル

画面の暗い部分(黒色)を調整します。黒がつぶれている場合(髪の毛などが見えにくい)は▶ボタンを、黒が浮いている(黒が白っぽい)場合は◀ボタンを押してください。

## ピクチャー

色の明暗度を調整します。明るい場合は◀ボタンを、暗い場合は▶ボタンを押してください。(黒レベルを先に調整してください。)

## シャープネス

映像をはっきりきわだたせる場合は▶ボタンを、やわらかい感じにするには◀ボタンを押してください。

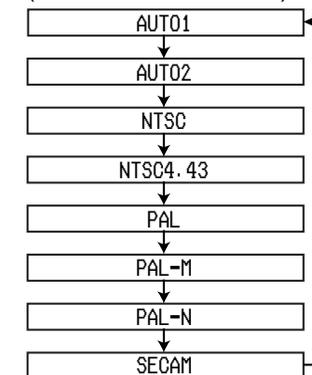
## ノイズリダクション(NR)

(Sビデオ/ビデオ/YPbPrを入力時のみ)  
入力された信号が劣化しているため映像にノイズが発生している場合にノイズを抑える調整ができます。

(750p(720p) HDTV60(1080i/60) HDTV50(1080i/50)の信号は除く)  
ノイズリダクションの効果を強くする場合は、▶ボタンを押してください。ノイズリダクションをオフにしたい場合は、◀ボタンを押して「0」に設定してください。

## TVシステム

(Sビデオ/ビデオのみ)



「AUTO1」 NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL60/SECAMの中から自動的に判別します。  
「AUTO2」 NTSC/PAL-M/PAL-Nの中から自動的に判別します。

通常は「AUTO1」または「AUTO2」に設定します。信号が劣化しているために正常に映らない場合はそれぞれのTVシステムに設定を変えてください。

## 白バランスR/G/B

(RGBのみ)

映像の白色部分に色がついているような場合に調整します。

◀ボタンを押すと選択した色が弱くなり、▶ボタンを押すと選択した色が強くなります。

## sRGBに対応した映像にするには

sRGBとは、IEC(International Electrotechnical Commission)で定められた色再現国際規格(IEC61966-2-1)です。sRGBに対応した、より忠実な色を再現させたい場合は、下記の手順で設定を行ってください。

- ① ▲▼ボタンを押して「映像モード」を選択し、◀▶ボタンで「ナチュラル」に設定する。
- ② ▲▼ボタンを押して「色温度設定」を選択し、◀▶ボタンで「標準」に設定する。
- ③ ▲▼ボタンを押して「標準」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押す。
- ④ 44、45ページのオプションメニューから、▲▼ボタンを押して「ランプパワー」を選択し、◀▶ボタンで「高」に設定する。

### お知らせ

- ・ RGB信号入力時のみ、sRGBに対応します。

# ポジションを調整する

パソコンなどのRGB信号入力時は、まずオートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押して、自動位置補正を行ってください。自動位置補正を行っても最適な設定にならない場合は、以下の調整を行ってください。

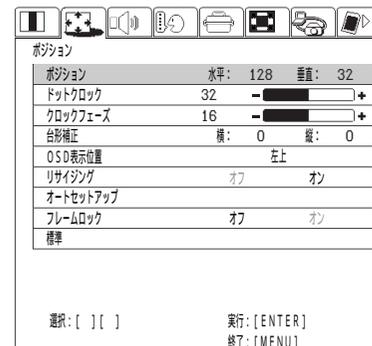
本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで項目を選択します。

設定項目の場合、◀▶ボタンを押せば設定を切り換えることができます。

調整項目の場合、エンター(ENTER)ボタンを押せば、個別調整画面が表示され、◀▶ボタンを押して調整できます。

▲▼ボタンで調整できる項目もあります。

## RGB/DVI信号入力時



「ポジション」「ドットクロック」「クロックフェーズ」は、DVI信号入力時には表示されません。

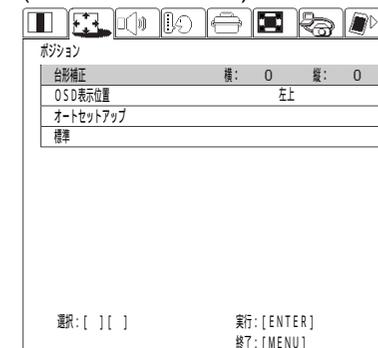
## Sビデオ/ビデオ信号入力時



## YPbPr信号入力時



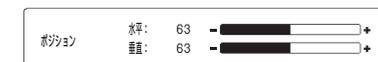
## NETWORK / SD CARD入力切替時 (TH-L780NTのみ)



## ポジション

映像の表示位置を移動させることができます。

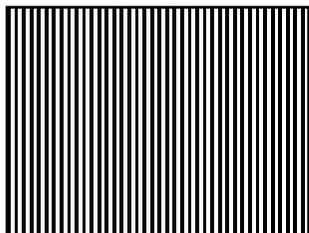
◀▶ボタンで水平位置の移動、▲▼ボタンで垂直位置の移動が行えます。



## ドットクロック

(RGBのみ)

下記のような縞模様を投写した場合に、周期的な縞模様(ノイズ)が発生する場合があります。この場合に◀▶ボタンでもっともノイズが少なくなるように調整してください。



## クロックフェーズ

(RGBのみ)

「ドットクロック」を調整した後に、この調整を行ってください。◀▶ボタンでもっともノイズが目立たなくなるように調整してください。

### お知らせ

- ドットクロック周波数が140 MHz以上の信号を投写時は、「ドットクロック」や「クロックフェーズ」を調整してもノイズがなくなる場合があります。

## 台形補正

台形補正を行う前に、28、29ページの「アジャスターボタン」での本機の傾き調整と、オートセットアップボタンでの縦方向の台形歪補正を行ってください。

標準レンズを使用の場合は本機のオートセットアップ機能を使用すれば自動的に垂直の台形歪は補正されますが、スクリーンが傾いている場合や横方向の台形歪は正しく補正されません。このような場合は、次の画面の状態に合わせて操作してください。



画面の状態	操作
	▲ボタンを押す
	▼ボタンを押す
	◀ボタンを押す
	▶ボタンを押す

### お願い

- 調整後、オートセットアップボタンを押すと、自動台形歪補正が機能し補正が正しくない状態に戻ります。また、入力信号を変えオートセットアップボタンを押すと、信号と本機の傾きによっては台形補正が解除される場合があります。このような場合は、「オプション」メニューの「自動台形補正」を「オフ」に設定してください。

### お知らせ

- 台形歪は、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。なるべく、よい画質で投写したい場合はできるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- 台形補正を行うと画像サイズも変化します。
- 入力する信号の種類によって、補正量の範囲が異なります。範

囲を超えると調整値が動かなくなります。また、台形補正を行った後で入力信号を変えると補正が解除されることがあります。これは、この信号での補正範囲を超えていることを示しています。

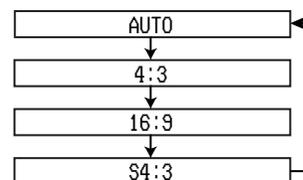
- 縦方向と横方向の補正を同時に行うと補正量は少なくなります。範囲を超えると調整値が動かなくなります。

## OSD表示位置

◀▶ボタンでオンスクリーンメニューの表示位置を変更することができます。

## アスペクト

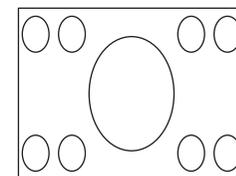
ビデオ/Sビデオ信号時  
YPbPr信号時〔525i(480i)、525p(480p)、625i信号のみ〕



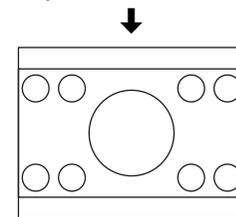
「AUTO」 (Sビデオのみ)  
Sビデオ端子にS1映像信号が入力されると自動的に16:9の映像投写に切り換わります。

「4:3」 入力された信号をそのまま投写します。

「16:9」 16:9に映像を圧縮して投写します。

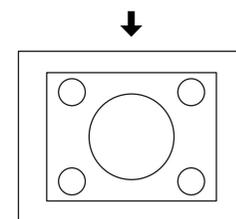
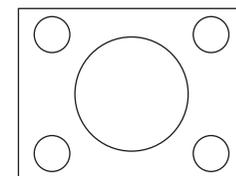


入力信号がスクイーズ(横方向に圧縮された)信号の場合



「S4:3」 入力された信号のサイズを75%に圧縮して投写します。(16:9スクリーンに4:3映像を投写する場合に有効です。)

入力信号が4:3信号の場合



## S1映像信号とは

- ・ S1映像信号とは、ワイド対応ビデオデッキなどから出力される検知信号が付加されている16:9の映像信号です。
- ・ 上記の設定を「AUTO」にしていれば、本機は検知信号を検出し、自動的に16:9に変換して映像を投写します。

## お願い

- ・ 本機はアスペクト比切り換え機能を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されまると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、アスペクト比をお選びください。
- ・ 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、アスペクト比切り換え(16:9)を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ・ ワイド映像ではない従来(通常)の4:3の映像をワイド画面で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、4:3の映像をご覧ください。

## お知らせ

- ・ VGA60信号またはRGB信号の525p信号を入力した場合、VGA60と525pの切り換えが行えます。入力する信号に合わせて切り換えてください。

## リサイジング

通常は「オン」に設定してください。(液晶パネルよりも画素数が少ない信号のみ。詳細は61ページ参照)

「オン」

入力信号の画素数を液晶パネルの画素数に変換して表示します。画素数の少ない信号でも足りない画素を自動的に補って投写します。映像によっては見えづらくなる場合があります。画素変換を行わず、映像信号の画素数をそのまま投写します。映像が小さく投写されますので、ズームを調整するか設置位置を前後させて調整してください。また、デジタルズームや台形歪調整などができなくなります。

「オフ」

## オートセットアップ

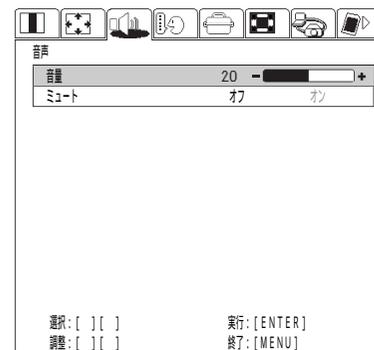
本体操作部またはリモコンのオートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押したときと同じ機能です。(14ページ)

## フレームロック

一部のRGB信号の動画再生時に映像が乱れる場合に「ON」に設定してください。対応しているRGB信号については61ページをご覧ください。

# 音声を調整する

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで項目を選択します。



## 音量

◀▶ボタンを押すと音量の調整ができます。

## ミュート

◀▶ボタンを押して「オン」に設定すれば音声が消えます。解除したい場合は、◀▶ボタンを押して「オフ」に設定してください。

# 表示言語を切り換える

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで言語を選択し、メニュー(MENU)ボタンを押してください。



# オプション設定

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで項目を選択します。設定項目の場合、◀▶ボタンを押せば設定を切り換えることができます。「シャッター」と「WEBパスワード」(TH-L780NTのみ)は、エンター(ENTER)ボタンを押します。



## シャッター

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像と音声を一時的に消すことができます。消費電力が少ないシャッターモードにすることができます。

## OSD表示

「オン」 入力信号切り換え時に入力名を画面右上に表示します。

「オフ」 入力名を表示させたくない場合に設定してください。

## 自動台形補正

通常は「オン」に設定してください。

「オン」 オートセットアップ時に、本機の傾きを検出し自動的に縦方向の台形歪を補正します。

「オフ」 スクリーンが傾いている場合など、オートセットアップ時に自動台形補正をさせたくない場合に設定してください。

## RGB/YPbPr

750p、HDTV50、HDTV60、525p、625i、525i信号を入力した場合に設定できます。入力する信号に合わせて設定してください。RGB1、2端子または3端子に信号が入力されている場合に表示されます。

## RGB2入出力選択

RGB2入力/RGB出力(RGB2 IN/RGB OUT)端子で信号を入力するか、出力するかを切り換えます。出力はRGB1かRGB3の選択されている方が出力されます。

## バックカラー

本機に信号が入力されていない時のバック画面の色を設定します。

## 投写方式1

本機の設置方法によって切り換えます。通常の反射式スクリーンを使用している場合は「フロント」に、透過式スクリーンを使用している場合は「リア」に設定します。

後方に本機を設置する場合は「リア」に設定します。

## 投写方式2

本機の設置方法によって切り換えます。通常、机の上などに設置して使用する場合は「フロア」に、別売りの天井金具を利用して天井などに設置する場合は「シーリング」に設定します。

## ランプパワー

ランプの明るさを切り換えます。「低」に設定すると輝度が下がりますが電力の節約、動作音の低減、ランプの寿命を延ばすことができます。狭い会議室など高い輝度を必要としない場合は「低」に設定されることをおすすめします。

## ランプ時間

現在使用中のランプの使用時間を表示します。64ページの方法でランプユニットを交換するとリセットされて「0」になります。

## お知らせ

・ ランプの寿命は使用条件(「ランプパワー」の設定や電源の入切の回数など)により変わります。

## ファン制御

海拔1400 m以上でのご使用の場合は、「高」に設定してください。

## WEB制御 (TH-L780NTのみ)

別売のワイヤレスカードやプロジェクターLANカードを使用して通信しているパソコンから本機を制御したい場合は「オン」に設定します。本機を制御させたくない場合は、「オフ」に設定します。

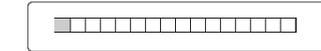
## WEB電源 (TH-L780NTのみ)

別売のワイヤレスカードやプロジェクターLANカードを使用して通信しているパソコンからスタンバイ状態(WEBスタンバイ)で本機の電源を

「ON」にしたい場合は「オン」に設定します。

WEBスタンバイ時は冷却ファンが回転したまま電源モニターがゆっくりと赤色点滅します。

## WEBパスワード



(TH-L780NTのみ)

別売のワイヤレスカードやプロジェクターLANカードを使用して通信しているパソコンから本機を制御する際に入力するパスワードを設定することができます。▲▼ボタンで文字の変更、◀▶ボタンで変更する桁を切り換えます。最大16文字まで設定できます。変更が終了後エンター(ENTER)ボタンを押します。工場出荷時は設定されていません。設定したあと、再度WEBパスワード画面を表示しても設定したパスワードは表示されません。もしパスワードを忘れた場合は再度設定しなおしてください。

## 操作キー

14ページの本体操作部にあるボタン機能を無効にすることができます。無効にしたい場合は、「オフ」に設定してください。有効に戻したい場合は、リモコン操作で「オン」に設定してください。

## FUNC1設定

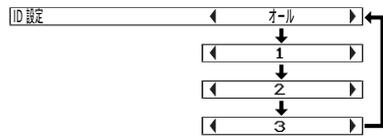
リモコンのFUNC1ボタンの機能を設定します。

「ミュート」 音声メニューのミュートのオン/オフ切り換え機能になります。(43ページ)

「台形補正」 ポジションメニューの「台形補正」を選択すると同じ働きになります。(40ページ)

## ID設定

本機を複数台並べてご使用になる場合は1つのリモコンで同時制御や個別制御することができます。



- 「オール」 IDナンバーに関係なくすべてのリモコンで本機を操作することができます。
- 「1」 IDナンバー「1」に設定したリモコンで本機を操作することができます。
- 「2」 IDナンバー「2」に設定したリモコンで本機を操作することができます。
- 「3」 IDナンバー「3」に設定したリモコンで本機を操作することができます。

### お知らせ

- 工場出荷時は「オール」に設定されていますので1台だけのご使用の場合はIDナンバーの設定の必要はありません。
- IDナンバーを設定した場合はリモコンのIDナンバーを本体のIDナンバーに合わせる必要があります。
- 本体を複数台並べて設置してIDナンバー「オール」に設定していると、他のIDナンバーを設置した本機と分けて個別制御することができなくなります。
- 本体とリモコン本体のIDナンバーの設定を合わせないとリモコンで電源(POWER)を入れることができません。リモコンのID設定のしかたは21ページをご参照ください。

## オートパワーオフ

設定時間まで信号が入力されないと自動的に本機をスタンバイ状態にすることができます。

15分から60分まで5分間隔で設定できます。オートパワーオフを使わない場合は「無効」に設定してください。

下記の3つの条件ではオートパワーオフ機能は働きません。

- ①ネットワークまたはSDカード入力時
- ②フリーズ機能使用時
- ③SDカードへの書き込み時

### お知らせ

(TH-L780NTのみ)

- 別売のワイヤレスカードやプロジェクターLANカードを使用してパソコンと通信している場合はWEBスタンバイとなります。(45ページ参照)

## ネットワーク設定 (TH-L780NTのみ)

別売のワイヤレスカードやプロジェクターLANカードを使用してパソコンと通信する場合に設定します。詳しくは、付属のCD-ROMをご覧ください。



### ステータス

パソコンと通信を行うためのLAN設定を行います。

### WEP

パソコンとの通信の暗号化の設定を行います。(プロジェクターLANカードを使用の際は表示されません。)

## SDカード設定 (TH-L780NTのみ)

SDメモリーカードを使って画像を再生する場合に設定します。詳しくは、付属のCD-ROMをご覧ください。



### オートプレイ

SDメモリーカード内の画像を順番に再生します。

### リピート

自動再生の繰り返し回数を設定を行います。

### 再生間隔

自動再生の再生間隔を設定します。

# レンズを調整する

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで項目を選択します。



## レンズ選択

別売の投写レンズを装着した場合に  
◀▶ボタンで設定を変えてください。

- 「標準」 標準レンズ
- 「長焦点」 長焦点ズーム(TY-LE30)
- 「中焦点」 中焦点ズーム(TY-LE20)
- 「短焦点」 短焦点ズーム(TY-LE10)

## ズーム/フォーカス

エンター(ENTER)ボタンで調整画面を表示させます。



ズーム      フォーカス

◀▶ボタンで画像サイズの調整をすることができます。

▲▼ボタンでフォーカスの調整をすることができます。

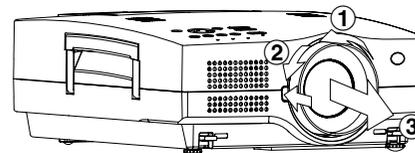
本体のフォーカス ( FOCUS + / - ) ボタン・ズーム ( ZOOM + / - ) ボタン又はフォーカスリングでも調整することができます。(微調整はフォーカス ( FOCUS + / - ) ボタンで行ってください。)

# 投写レンズを交換する

別売の投写レンズと交換することで投写距離を変えることができます。

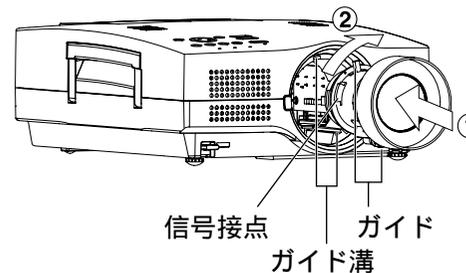
## 交換手順

### 取り外し方



- ① 投写レンズを時計方向と反対にまわしきる。
- ② レンズロックボタンを押しながらさらに時計方向と反対にまわす。
- ③ 投写レンズを抜きとる。

### 取り付け方



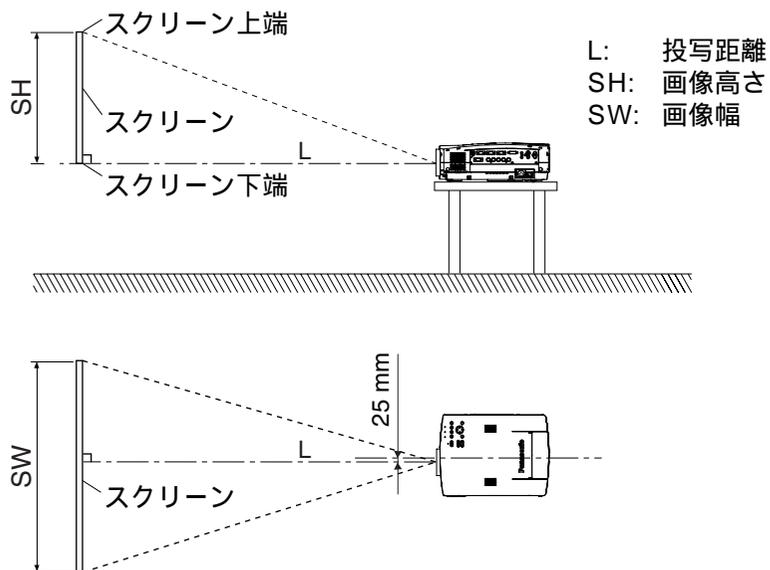
- ① 投写レンズのガイドを本機のガイド溝に合わせて奥まで差し込む。
- ② 「カチッ」と音がするまで時計方向にまわす。

## お知らせ

- ・ レンズ交換は本機の電源を切ってから行ってください。
- ・ レンズ信号接点には指を触れないようにしてください。ホコリや汚れなどにより、接触不良の原因となることがあります。
- ・ 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
- ・ 交換したレンズは振動や衝撃を与えないように保管してください。

## 投写レンズごとの投写距離

### 投写関係



### TY-LE10(短焦点ズーム)

画面サイズ(4 : 3)			投写距離(L)	
対角(型)	高さ(SH)	幅(SW)	ワイド(LW)	テレ(LT)
40	0.61 m	0.81 m	1.1 m	1.3 m
50	0.76 m	1.02 m	1.3 m	1.7 m
60	0.91 m	1.22 m	1.6 m	2.0 m
70	1.07 m	1.42 m	1.9 m	2.4 m
80	1.22 m	1.63 m	2.2 m	2.7 m
90	1.37 m	1.83 m	2.4 m	3.1 m
100	1.52 m	2.03 m	2.7 m	3.5 m
150	2.29 m	3.05 m	4.0 m	5.3 m
200	3.05 m	4.06 m	5.4 m	7.0 m
250	3.81 m	5.08 m	6.7 m	8.8 m
300	4.57 m	6.10 m	8.1 m	10.6 m

### TY-LE20(中焦点ズーム)

画面サイズ(4 : 3)			投写距離(L)	
対角(型)	高さ(SH)	幅(SW)	ワイド(LW)	テレ(LT)
40	0.61 m	0.81 m	2.1 m	3.3 m
50	0.76 m	1.02 m	2.7 m	4.2 m
60	0.91 m	1.22 m	3.2 m	5.0 m
70	1.07 m	1.42 m	3.8 m	5.9 m
80	1.22 m	1.63 m	4.3 m	6.8 m
90	1.37 m	1.83 m	4.9 m	7.7 m
100	1.52 m	2.03 m	5.4 m	8.5 m
150	2.29 m	3.05 m	8.2 m	12.9 m
200	3.05 m	4.06 m	11.0 m	17.2 m
250	3.81 m	5.08 m	13.8 m	21.6 m
300	4.57 m	6.10 m	16.5 m	26.0 m

### TY-LE30(長焦点ズーム)

画面サイズ(4 : 3)			投写距離(L)	
対角(型)	高さ(SH)	幅(SW)	ワイド(LW)	テレ(LT)
40	0.61 m	0.81 m	3.4 m	4.6 m
50	0.76 m	1.02 m	4.2 m	5.8 m
60	0.91 m	1.22 m	5.0 m	6.9 m
70	1.07 m	1.42 m	5.8 m	8.1 m
80	1.22 m	1.63 m	6.6 m	9.2 m
90	1.37 m	1.83 m	7.4 m	10.4 m
100	1.52 m	2.03 m	8.2 m	11.5 m
150	2.29 m	3.05 m	12.2 m	17.3 m
200	3.05 m	4.06 m	16.3 m	23.0 m
250	3.81 m	5.08 m	20.4 m	28.7 m
300	4.57 m	6.10 m	24.4 m	34.5 m

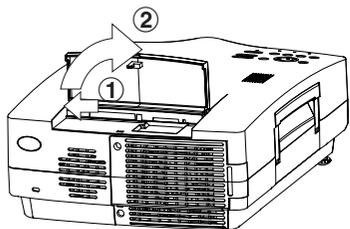
表以外の投写寸法は下記の計算式で求めることができます。  
画面サイズ(対角)をSD(型)とすると、ワイド時の投写距離(LW)、テレ時の投写距離(LT)を下記の計算式で求めることができます。

投写レンズ品番	アスペクト比	投写距離 (L) 計算式
ズームレンズ TY-LE10 (1.3 ~ 1.7 : 1)	4 : 3	LW = 0.027 × SD - 0.0523 LT = 0.0355 × SD - 0.0509
	16 : 9	LW = 0.0294 × SD - 0.0523 LT = 0.0387 × SD - 0.0509
ズームレンズ TY-LE20 (2.6 ~ 4.2 : 1)	4 : 3	LW = 0.0554 × SD - 0.134 LT = 0.0871 × SD - 0.136
	16 : 9	LW = 0.0604 × SD - 0.134 LT = 0.0949 × SD - 0.136
ズームレンズ TY-LE30 (4.0 ~ 5.6 : 1)	4 : 3	LW = 0.0809 × SD + 0.104 LT = 0.1147 × SD + 0.096
	16 : 9	LW = 0.0881 × SD + 0.104 LT = 0.1250 × SD + 0.096

## スロットカバーを交換する (TH-L780NTのみ)

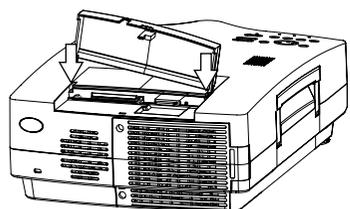
別売のプロジェクトLANカードを使用してパソコンと通信する場合は同梱のプロジェクトLANカード用スロットカバーと交換する必要があります。

### 取り外しかた



- ①スロットカバーのつめを本機に取り付け孔より外す。
- ②スロットカバーを持ち上げて外す。

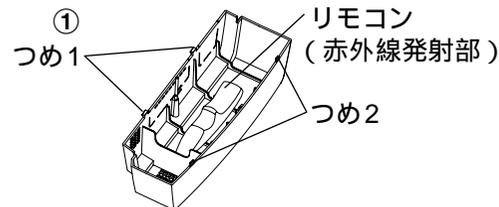
### 取り付けかた



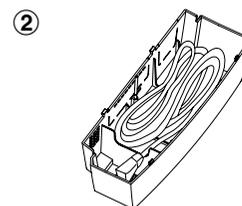
- ①スロットカバー(プロジェクトLANカード用)の片方のつめを本機に取り付け孔に差し込む。
- ②もう片方のつめを本機に取り付け孔に差し込む。

## 電源コード・リモコンを収納する

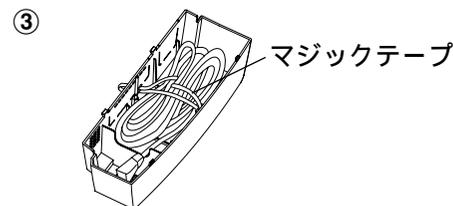
### 取り付けかた



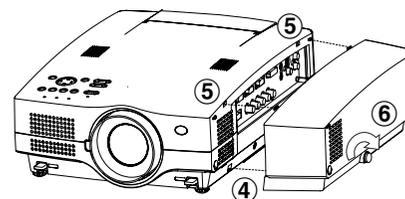
- ①ボタンがおされないように操作面を下にしてリモコンを収納する。



- ②電源コードなどを収納する。

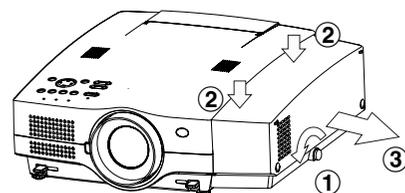


- ③ケーブルカバー穴にマジックテープをとおしてとめる。



- ④ケーブルカバーのつめ1を本機に取り付け孔に差し込む。
- ⑤つめ2をカチッと固定するまで押し込む。
- ⑥ネジを時計方向に回して締めつける。

### 取り外しかた



- ①ネジを空回りするまで時計方向と反対に回す。
- ②ケーブルカバーの上2箇所を押しロックを外す。
- ③後へ引いてケーブルカバーを外す。

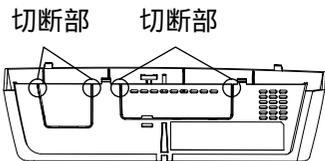
### お願い

- ・ケーブルカバーを持って本体を持ち上げないでください。ケーブルカバーが外れる可能性があります。

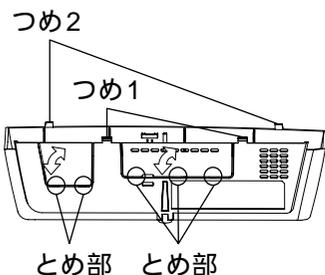
# 端子部カバーとして使う

天つり等で本機を使用の場合、付属のケーブルカバーの切り込み部を切断することにより、接続した端子を隠す端子部カバーとして使用することができます。

①切断部をニッパー等で切る。

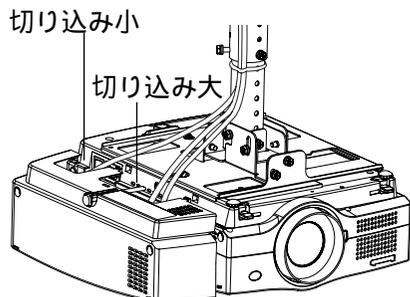


②切り込み部を外側に折り曲げ、数回折り返し、とめ部を折る。必要であればバリの処理をしてください。

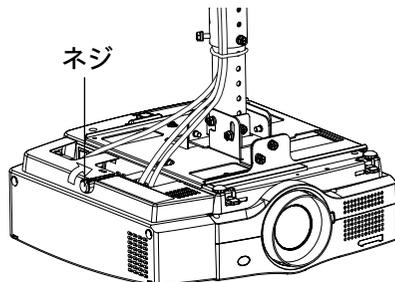


③切り込み小には電源コード等を、切り込み大にはケーブル等を通して、ケーブルカバーのつめ1を本機の取り付け孔に差し込む。

④つめ2をカチッと固定するまで押し込む。



⑤ネジを時計方向に回して締めつける。



取り外しに関しては53ページを参照してください。

## お願い

- 端子部カバーとして使用する場合は吸気孔をふさがないようにしてください。
- ケーブルカバーに荷重をかけないでください。ケーブルカバーが外れる可能性があります。
- ケーブルを大きく湾曲させないでください。ケーブルカバーが取り付けにくくなります。

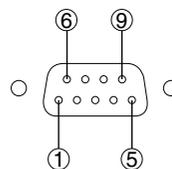
## お知らせ

- エアフィルター清掃、交換はケーブルカバーを外して行ってください。

# リモート端子を使う

本体側面端子部のリモート(REMOTE)端子を使用することで、設置場所から離れたリモコンの信号が届かない場所にある制御盤などから、本体を遠隔制御することができます。

## ピン配列と制御内容について



D-Sub 9p (メス)  
外側から見た図

ピン NO.	信号名	内容
①	GND	グラウンド
②	POWER	電源ON
③	INPUT SEL3	入力信号選択3
④		NC
⑤	INPUT SEL1	入力信号選択1
⑥	INPUT SEL2	入力信号選択2
⑦		NC
⑧		NC
⑨	ENABLE	接点制御

制御を行う場合は必ず、①番ピンと⑨番ピンは短絡させてください。

①ランプ点灯 / 消灯

ピン番号	設定	
②-①	短絡	開放
動作	点灯	消灯(スタンバイ)

②入力信号切り換え

ピン番号	設定					
③-①	開放	開放	短絡	短絡	短絡	開放
⑤-①	開放	短絡	開放	開放	短絡	開放
⑥-①	開放	開放	短絡	開放	開放	短絡
入力信号	RGB1	RGB2	RGB3	VIDEO	S-VIDEO	DVI

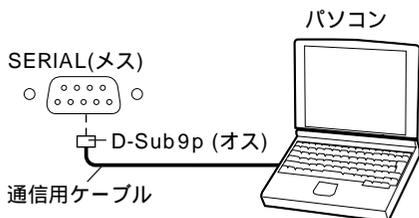
## お知らせ

- ①番、⑨番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの電源(POWER)ボタン、RGBボタン、ビデオ(VIDEO)ボタンが使用できなくなります。また、これらのボタンに相当するRS-232C用コマンドも使用できなくなります。別売のワイヤレスカードやプロジェクターLANカードを使用したパソコンとの通信で「電源」と「入力切換」も使用できなくなります。
- ⑨番ピンを開放したまま、①、②、③、⑤、⑥番ピンを短絡させないでください。この設定を行うと、本体はリモコンからの信号を一切受け付けなくなります。

# シリアル端子

本機側面端子部のシリアル(SERIAL)端子はRS-232C準拠のためパソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。

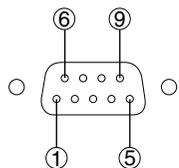
## 接続



### お願い

- シリアル(SERIAL)端子とパソコンをつなぐ通信ケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

## ピン配列と信号名



D-Sub 9p (外側から見た図)

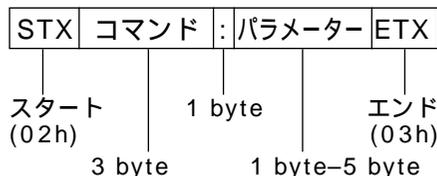
ピン NO.	信号名	内容
①		NC
②	TXD	送信データ
③	RXD	受信データ
④		NC
⑤	GND	グラウンド
⑥	DSR	内部で接続されています
⑦	CTS	内部で接続されています
⑧	RTS	
⑨		NC

## 通信条件

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600 bps
パリティ	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

## 基本フォーマット

パソコンからの伝送はSTXで開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後にETXの順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



### お願い

- ランプ点灯開始後、約10秒間はコマンドを受信できませんので、必ず10秒以上経過してから送信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン(:)は必要ありません。

### お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から"ER401"というコマンドがパソコン側に送信されます。

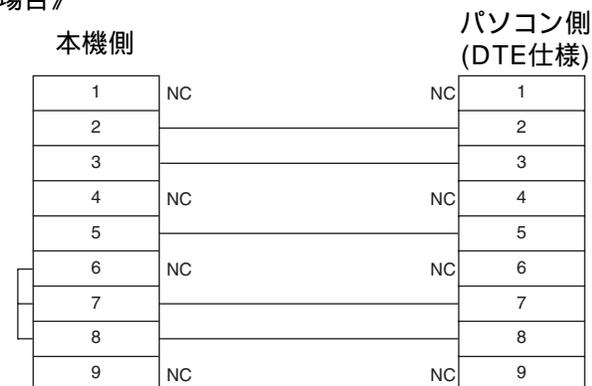
## 制御コマンド

パソコンで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。 ・ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。 ・ランプ消灯後、冷却ファン動作中に「PON」コマンドを送信した場合、ランプの保護のため、消灯後約40秒経過しないと点灯制御を開始しません。
POF	電源「切」	
AVL	音量	パラメーター 000(調整値0)~063(調整値63)
IIS	入力切り換え	パラメーター VID = VIDEO                      SVD=S-VIDEO RG1 = RGB1                      RG2 = RGB2 RG3 = RGB3                      DVI = DVI NWP=NETWORK( TH-L780NTのみ ) SDC = SD CARD( TH-L780NTのみ )
Q\$S	ランプ点灯状態 問い合わせ	コールバック 0 = スタンバイ 1 = ランプ点灯制御中 2 = ランプ点灯 3 = ランプ消灯制御中

## ケーブル仕様

《パソコンと接続する場合》



# モニターランプについて

本機には内部の状態を知らせる温度(TEMP)とランプ(LAMP)のモニターランプがついています。本機内部に異常が発生すると点灯や点滅でお知らせしますので、電源を切り、次の処置をしてください。

温度(TEMP)モニター			
点灯状況	赤色点灯 (映像投写中)	赤色点滅 (映像投写中)	赤色点滅 (スタンバイ状態)
現象	周囲温度または内部が高温になっている。	内部が異常に高温になっている、または急激な温度変化が生じている。	周囲温度または内部が異常に高温なため、ランプユニットが自動的に消灯した。
ここをお調べください	<ul style="list-style-type: none"> <li>通風孔がふさがれていませんか。</li> <li>気温の高いところで使用していませんか。</li> <li>エアフィルターがめづまりしていませんか。</li> </ul>		
処置のしかた	<ul style="list-style-type: none"> <li>通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。</li> <li>周囲温度0 ~ 40 、周囲湿度20 % ~ 80 %(非結露)の場所に設置してください。[45ページの「ファン制御」を「高」に設定している場合は、周囲温度0 ~ 35 、周囲湿度20 % ~ 80 %(非結露)の場所に設置してください。]</li> <li>29ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、エアフィルターの清掃(62ページ参照)を行ってください。</li> </ul>		

ランプ(LAMP)モニター			
点灯状況	赤色点灯	赤色点滅	
現象	ランプユニットの交換時期を知らせている。	ランプ回路の異常を検知している	
ここをお調べください	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機の電源を入れた時に「ランプ交換」というオンスクリーン表示がされていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源を切ってからすぐに電源を入れなおしていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランプ回路に異常が発生しています。</li> </ul>
処置のしかた	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランプユニットの使用時間が1300時間(ランプパワー「高」設定時)に達すると点灯します。ランプユニットの交換を行ってください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>29ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、販売店にご相談ください。</li> </ul>

## お願い

- 温度(TEMP)モニター、ランプ(LAMP)モニターの表示により処置を行うときの電源操作は29ページの「電源の切りかた」の手順を必ずお守りください。
- 温度(TEMP)モニター点滅後、主電源(MAIN POWER)スイッチが切れた場合は、内部に異常が発生しています。販売店に修理をご依頼ください。

# オートセットアップについて

オートセットアップボタンを押せば、下表の項目を自動設定します。入力信号によって設定項目が変わります。下表を参照ください。

	水平/垂直位置	ドットクロック/ クロックフェーズ	自動台形補正 (垂直方向のみ)
ビデオ/Sビデオ /ネットワーク /SDカード			
YPbPr			
DVI			
ドットクロック 140 MHz以上		x	
上記以外の RGB信号			

## お知らせ

- 画像の端が判らないような画像や暗い画像を入力してオートセットアップを動作させると自動的に処理が中断されることがあります。このような場合は、別の画像に切り換えてからもう一度オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押すか、手動で上記の調整を行ってください。
- さらにお好みの映像に調整する場合は、30ページ以降のメニュー操作で行います。

# 対応信号リスト

表示モード	解像度 (ドット)*1	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	画質*2	リサイ ジング*3	フォー マット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)				
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720 x 480i	15.734	59.940		A	OK	Video/S-Video
PAL/PAL-N/SECAM	720 x 576i	15.625	50.000		A	OK	Video/S-Video
525i	720 x 480i	15.734	59.940	13.500	A	OK	YPbPr/RGB
625i	720 x 576i	15.625	50.000	13.500	A	OK	YPbPr/RGB
525p	720 x 483	31.469	59.940	27.000	A	OK	YPbPr/RGB
HDTV60	1 920 x 1 080i	33.750	60.000	74.250	A		YPbPr/RGB
HDTV50	1 920 x 1 080i	28.125	50.000	74.250	A		YPbPr/RGB
750P	1 280 x 720	45.000	60.000	74.250	A		YPbPr/RGB
VESA70	640 x 400	31.469	70.086	25.175	A	OK	RGB
VESA85	640 x 400	37.861	85.081	31.500	A	OK	RGB
VGA60 *4	640 x 480	31.469	59.940	25.175	A	OK	RGB
VGA65	640 x 480	35.000	66.667	30.240	A	OK	RGB
VGA72	640 x 480	37.861	72.809	31.500	A	OK	RGB
VGA75	640 x 480	37.500	75.000	31.500	A	OK	RGB
VGA85	640 x 480	43.269	85.008	36.000	A	OK	RGB
SVGA55	800 x 600	35.156	56.250	36.000	A	OK	RGB
SVGA60 *4	800 x 600	37.879	60.317	40.000	A	OK	RGB
SVGA70	800 x 600	48.077	72.188	50.000	A	OK	RGB
SVGA75	800 x 600	46.875	75.000	49.500	A	OK	RGB
SVGA85	800 x 600	53.674	85.061	56.250	A	OK	RGB
MAC16	832 x 624	49.725	74.550	57.283	A	OK	RGB
XGA60 *4	1 024 x 768	48.363	60.004	65.000	AA		RGB
XGA70	1 024 x 768	56.476	70.069	75.000	AA		RGB
XGA75	1 024 x 768	60.023	75.029	78.750	AA		RGB
XGA85	1 024 x 768	68.678	84.997	94.500	AA		RGB
XGA85i	1 024 x 768i	35.520	86.952	44.897	AA		RGB
MXGA70	1 152 x 864	63.995	71.184	94.200	A		RGB
MXGA75	1 152 x 864	67.500	74.917	108.000	A		RGB
MXGA85	1 152 x 864	76.705	85.038	121.500	A		RGB
MAC21	1 152 x 870	68.681	75.062	100.000	A		RGB
MSXGA60 *4	1 280 x 960	60.000	60.000	108.000	A		RGB
SXGA60 *4	1 280 x 1 024	63.981	60.020	108.000	A		RGB
SXGA75	1 280 x 1 024	79.977	75.025	135.001	A		RGB
SXGA85	1 280 x 1 024	91.146	85.024	157.500	B		RGB
SXGA60+ *4	1 400 x 1 050	63.981	60.020	108.000	A		RGB
UXGA60 *4	1 600 x 1 200	75.000	60.000	162.000	B		RGB

\*1 解像度の後ろの“i”は、インターレース信号を示しています。

\*2 画質を表す記号は下記の通りです。

AA 最高の画質で投写できます。A 画像処理回路で変換を行い投写しています。

B データを間引いて簡易投写しています。

\*3 リサイジングの項にOKのついている信号は、映像メニューのリサイジング(42ページ)を設定できます。

\*4 フレームロック機能に対応している信号です。(42ページ)

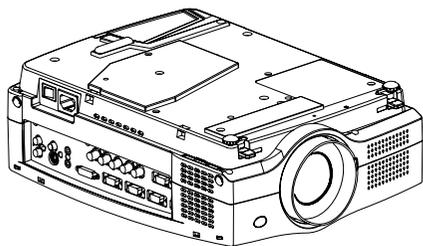
DVI信号はVGA60、SVGA60、XGA60、SXGA60のみ対応です。

# エアフィルターの清掃・交換

エアフィルターにほこりがたまり過ぎると、本機内部温度が高温になり、温度(TEMP)モニターが点滅し、電源が切れます。使用場所により異なりますがエアフィルター部の清掃は約100時間を目安に行ってください。

## 清掃手順

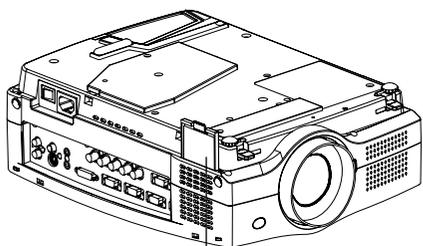
- ① 主電源を切り電源プラグをコンセントから抜く。  
29ページの「電源の切りかた」の手順を守り、電源を切ってから電源プラグを抜いてください。
- ② 本機を静かに裏返す。



## お願い

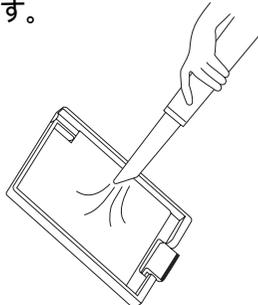
- ・ 本機に傷がつかないように、毛布などの上に裏返して置いてください。

- ③ エアフィルターを外す。  
エアフィルターにつめをかけて本機から引き出します。



エアフィルター

- ④ エアフィルターを掃除する。  
たまったほこりを掃除機で吸い取ります。



## お願い

- ・ エアフィルターを吸い込まないようにご注意ください。

- ⑤ エアフィルターを取り付ける。

## お願い

- ・ エアフィルターは必ず取り付けてご使用ください。エアフィルターを取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

## お知らせ

- ・ 掃除をしてもほこりがとれなくなったらエアフィルターの交換時期です。販売店にご相談ください。また、ランプユニットの交換の際は、あわせてエアフィルターも交換ください。

# ランプを交換する



## 警告

ランプユニットの交換はランプが冷えてから(1時間以上待ってから)行う



カバー内部がかなり熱く、やけどの原因となります。

## ランプユニット交換上のお願い

- ・ 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- ・ 取り外した古いランプユニットは、乱雑に取り扱っていると破裂する場合があります。蛍光灯と同様に処分してください。
- ・ ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。ドライバー使用時は手をすべらせないようにご注意ください。

## お知らせ

- ・ ランプユニットは別売り部品です。販売店にご相談ください。  
ランプユニット品番：ET-LA780(サービス部品扱い)
- ・ 上記のランプ以外は使用しないでください。必ず指定のランプを使用してください。

## ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。

交換の目安は1500時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境等の影響を受けて、1500時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めのランプユニットの準備をお勧めします。

1500時間を過ぎると、ランプが破裂する可能性が高くなります。破裂防止のため、1500時間を過ぎると自動的に消灯します。

## お知らせ

- ・ この説明で記載している使用時間は、「オプション」メニューの「ランプパワー」を「高」に設定して使用された場合の時間です。「低」に設定して使用されますと、明るさが低下しますが、長くランプを使用することができます。
- ・ 1500時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については、70ページや保証書をご覧ください。

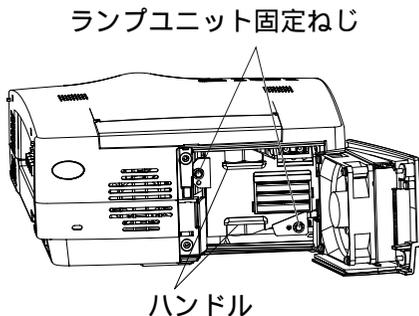
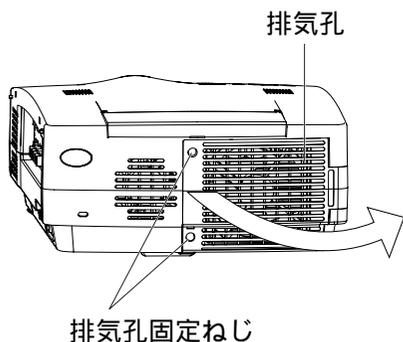
	オンスクリーン表示 	ランプ(LAMP)モニター 
1 300時間以降	30秒間表示されます。いずれかのボタンを押せば表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
1 500時間以降	いずれかのボタンを押さない限り表示が消えません。	

## ランプユニットの交換手順

### お願い

- ランプユニットの使用時間が1 500時間(ランプパワー「高」設定時)を越えた場合は、電源を入れてから約10分間のみ本機を動作させることができます。手順⑦～⑫の操作を10分以内に行ってください。

- 29ページの「電源の切りかた」の手順を守り、主電源(MAIN POWER)スイッチを切った後、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニット周辺が冷えていることを確認する。
- 本機後面の排気孔の固定ねじ(2本)をプラスドライバーで回し、排気孔を開ける。
- ランプユニットを固定しているねじ(2本)をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニットのハンドルを持ち、ゆっくりと本機から引き出す。



- 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込み、ランプユニット固定ねじをプラスドライバーでしっかりと締めつける。
- 排気孔を閉じ、固定ねじ(2本)をプラスドライバーでしっかりと締めつける。

### お願い

- ランプユニットや、排気孔は確実に取り付けてください。ランプユニットや排気孔の取り付けが不完全だと、保護回路が動作し電源が入りません。
- 電源プラグをコンセントに差し込んで、主電源(MAIN POWER)スイッチを入れる。

### お願い

- 主電源(MAIN POWER)スイッチを「ON」にしても電源が入らない場合は、一度、主電源(MAIN POWER)スイッチを「OFF」にし、ランプユニットや排気孔の取り付けを確認後、再度「ON」にしてください。
- 電源(POWER)ボタンを押し、映像投写を開始する。
- メニュー(MENU)ボタンを押し、メニュー画面を表示させ、◀▶ボタンでオプションメニューを選ぶ。

オプション		
シャッター		
OSD表示	オフ	オン
自動台形補正	オフ	オン
RGB/Y/PbPr	RGB	YPbPr
RGB 2入出力選択	入力	出力
バックカラー	ブルー	ブラック
投写方式1	フロント	リア
投写方式2	プロア	シーリング
ランプパワー	低	高
ランプ時間	1820 時間	
次ページ ↓		

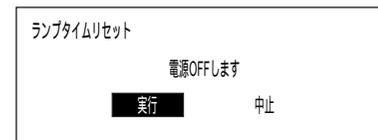
選択: [ ] [ ]      実行: [ENTER]      終了: [MENU]

- エンター(ENTER)ボタンを押し、▲▼ボタンで「ランプ時間」の項を選択する。

オプション		
シャッター		
OSD表示	オフ	オン
自動台形補正	オフ	オン
RGB/Y/PbPr	RGB	YPbPr
RGB 2入出力選択	入力	出力
バックカラー	ブルー	ブラック
投写方式1	フロント	リア
投写方式2	プロア	シーリング
ランプパワー	低	高
ランプ時間	1820 時間	
次ページ ↓		

選択: [ ] [ ]      終了: [MENU]

- エンター(ENTER)ボタンを約3秒間押し続ける。



「ランプタイムリセット」画面が表示されます。

- ◀▶ボタンで「実行」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押す。

### お知らせ

- 「中止」を選べば、ランプタイムリセットの設定が解除されます。
- 電源を「切」にする。ランプ使用時間が「0」にリセットされます。電源の切りかたは29ページの手順③、④をご覧ください。

# 修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。

症状	ここをお調べください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードがコンセントにしっかり差し込まれていますか。</li> <li>主電源(MAIN POWER)スイッチが「切」になっていませんか。</li> <li>コンセントに電源がきていますか。</li> <li>温度(TEMP)またはランプ(LAMP)モニターが点灯または点滅していませんか。(58、59ページ参照)</li> <li>ランプユニット収納扉は完全に取り付けられていますか。</li> </ul>
映像がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像入力は正しく接続されていますか。</li> <li>入力切り換えの設定が正しくなっていますか。(28ページ参照)</li> <li>黒レベル調整が最小になっていませんか。(37ページ参照)</li> <li>本機に接続している機器は正常に動作していますか。</li> <li>シャッター機能を使用していませんか。(44ページ参照)</li> </ul>
映像がボヤけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>レンズキャップがかぶさったままではありませんか。</li> <li>レンズのフォーカスは合っていますか。(29、48ページ参照)</li> <li>投写距離は適切ですか。(27、50ページ参照)</li> <li>レンズが汚れていませんか。</li> <li>本機がスクリーンに対して直角に設置されていますか。(26ページ参照)</li> </ul>
色が薄い/色あいが悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。(37ページ参照)</li> <li>本機に接続している機器は正しく調整されていますか。</li> </ul>
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声入力は正しく接続されていますか。</li> <li>音量調整が最小になっていませんか。(15、43ページ参照)</li> <li>音声出力(AUDIO OUT)端子に、ケーブルが接続されていませんか。</li> <li>音声ミュートに設定していませんか。(43ページ参照)</li> </ul>
リモコンが働かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>乾電池が消耗していませんか。</li> <li>極性は正しくセットされていますか。(20ページ参照)</li> <li>リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。(20ページ参照)</li> <li>リモコン有効範囲をこえた場所でリモコンを操作していませんか。(20ページ参照)</li> <li>蛍光灯などの影響を受けていませんか。(20ページ参照)</li> <li>本体操作部またはリモコンの電源(POWER)ボタンを5秒間押し続け、電源を入れ直して下さい。</li> </ul>

症状	ここをお調べください
本体操作部のボタンが働かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>「操作キー」の設定が「オフ」になっていませんか。(45ページ参照)</li> <li>「オフ」に設定したあとにリモコンを紛失した場合などには、本体操作部のエンター(ENTER)ボタンを押しながらメニュー(MENU)ボタンを2秒以上押し続け設定を「オン」に戻すことができます。</li> <li>本体操作部またはリモコンの電源(POWER)ボタンを5秒間押し続け、電源を入れ直して下さい。</li> </ul>
正常な映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>信号方式(TVシステム)の選択は正しく行われていますか。(37ページ参照)</li> <li>ビデオテープ等ソース側に異常はありませんか。</li> <li>本機が対応できない信号を入力していませんか。(61ページ参照)</li> <li>RGB信号のSXGA60とSXGA60+の切り換えを行うと正しく映像が映らない場合があります。この場合は、オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押してください。</li> </ul>
パソコンからの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブルが長すぎませんか。</li> <li>ノートパソコンの外部映像出力が、正しく設定されていますか。(「Fn」+「F3」あるいは「Fn」+「F10」ボタンを同時に押すと、外部出力設定が切り替わる場合があります。パソコンの機種によって異なりますので、パソコンに付属の説明書をご覧ください。)</li> <li>RGB入力モニター(14ページ参照)が消灯している場合は、パソコンから信号が出力されていないことが考えられます。</li> <li>RGB2入力/RGB出力(RGB2 IN/RGB OUT)端子に信号を入力されている場合に、「オプション」メニューの「RGB2入出力選択」を「出力」にしていませんか。(44ページ参照)</li> </ul>

# 仕様

使用電源	AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	380 W(リモコンスタンバイ時約1.5 W ただし、ファン停止時) (WEBスタンバイ時 42W : 45ページ参照)
液晶パネル	1.0 型(アスペクト比4:3) マイクロレンズアレイ付き
パネルサイズ	透過型液晶パネル3枚 3原色方式 アクティブマトリクス方式
表示方式	786 432 画素(1 024×768 ドット) ×3枚
駆動方式	ズーム(1~1.3)・フォーカスレンズ F 1.7~2.1、f 40.7 mm~52.8 mm
画素数	270 W UHMランプ 3 200 lm(ANSI) 内蔵データ(ポイントスキャン)方式
レンズ	15 kHz~91 kHz
光源ランプ	50 Hz~87 Hz
光出力	140 MHz未満
対応走査周波数	525i(480i)、625i、525p(480p)、 750p(720p)、HDTV60(1080i/60)、 (RGB信号時) HDTV50(1080i/50)
水平走査周波数	7方式(NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL- M/PAL-N/PAL60/SECAM)
垂直走査周波数	40 型~300 型
ドットクロック周波数	1.6 m~16.0 m
YPbPr信号	10:0 (固定)
	4:3
カラー方式	フロント/リア/天つり/床置き(メニュー 設定方式)
投写画面サイズ	4.0 cm×3.0 cm だ円型 2コ
投写距離	2 W(ステレオ)
光軸シフト量	1系統 DVI-D 24ピン
画面アスペクト比	2系統 高密度 D-sub 15p(メス) (1系統のみ入出力の切り換え可能)
投写方式	1系統 BNC×5
スピーカー	1.0 V [p-p](同期信号を含む) 75
音声実用最大出力	0.7 V [p-p] 75
接続端子	RGB入出力時
DVI-D入力端子	Y:
RGB/YPbPr入出力端子	PbPr :
	RGB入出力時
	R、G、B:
	G・SYNC:
	HD/SYNC:
	VD:
	TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応
	TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応

RGB音声入力端子	1 系統 ステレオミニピンジャック 0.5 V [rms]
ビデオ入力端子	1 系統 RCA ピンジャック 1.0 V [p-p] 75
Sビデオ入力端子	1 系統 Mini DIN 4p Y 1.0 V [p-p] C 0.286 V [p-p] 75
ビデオ/Sビデオ用音声入力端子	1 系統 RCA ピンジャック×2(L-R) 0.5 V [rms]
音声出力端子	1 系統 ステレオミニピンジャック (モニター出力、ステレオ対応可) 0 V [rms]~1.0 V [rms](可変) D-sub 9p(メス)RS-232C準拠 パソコン制御用
シリアル端子	3.0 m 樹脂成型品(ABS/PC)
電源コードの長さ	横幅 290 mm
キャビネット	高さ 137 mm
外形寸法	奥行 406 mm(レンズカバー未装着時)
質量	5.9 kg
使用環境条件	使用周囲温度 0 ~ 40 (ただし、 45ページの「ファン制御」を「高」に設 定している場合は、0 ~ 35 ) 使用周囲湿度 20 %~80 % (結露のな いこと)
<リモコン>	
使用電源	DC 3 V(単4形乾電池2コ)
操作距離	約7 m (受光部正面)
質量	108 g(乾電池含む)
外形寸法	横幅 33 mm 高さ 168 mm 厚さ 40 mm
<オプション>	
天つり金具	TY-PK780
天つり金具(低天井用)	TY-PK780S
ワイヤレスマウスレシーバー	TW-RMRC1
ワイヤレスカード	TW-CDWL1
プロジェクターLANカード	TW-CDLAN1
投写レンズ	TY-LE10(短焦点ズーム用)、TY-LE20(中焦点ズーム用) TY-LE30(長焦点ズーム用)

この液晶プロジェクターを使用できるのは、日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This LCD projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

# 保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は.....  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## 1. 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

## 2. 保証期間

お買い上げ日から本体1年間。  
ただし光源ランプは6ヵ月または600時間の早い方

## 3. 修理を依頼されるとき

66ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ● 保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。ただし、1年未満でも液晶パネルや偏光板などの光学部品の交換は、有料になる場合があります。

### ● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

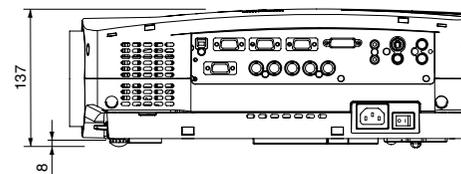
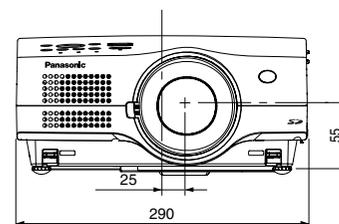
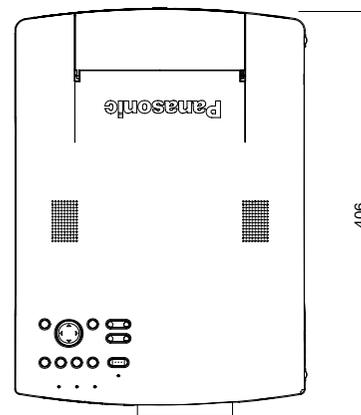
**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容	
ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番 お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	モニターランプ点灯状況を含め、詳しくお願いします。
ご訪問ご希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

# 外形寸法図

<単位：mm>



## 商標について

- SDロゴは商標です。
  - Windows は、米国Microsoft Corporation (マイクロソフト社) の米国およびその他の国の商標または登録商標です。
  - VGA、XGAは米国 International Business Machines Corporation の商標です。
  - Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
  - S-VGA は Video Electronics Standards Association の商標または登録商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

Panasonic

液晶プロジェクター TH-L780NT TH-L780 取扱説明書

この取扱説明書は再生紙を使用しております。

S0702-3053D

松下電器産業株式会社  
システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161